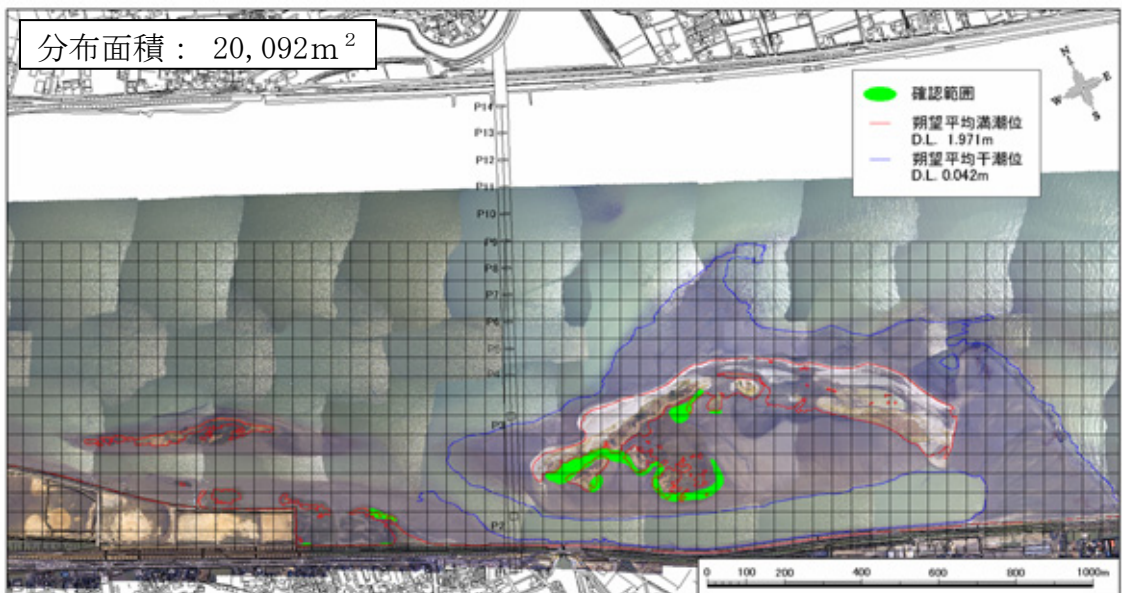
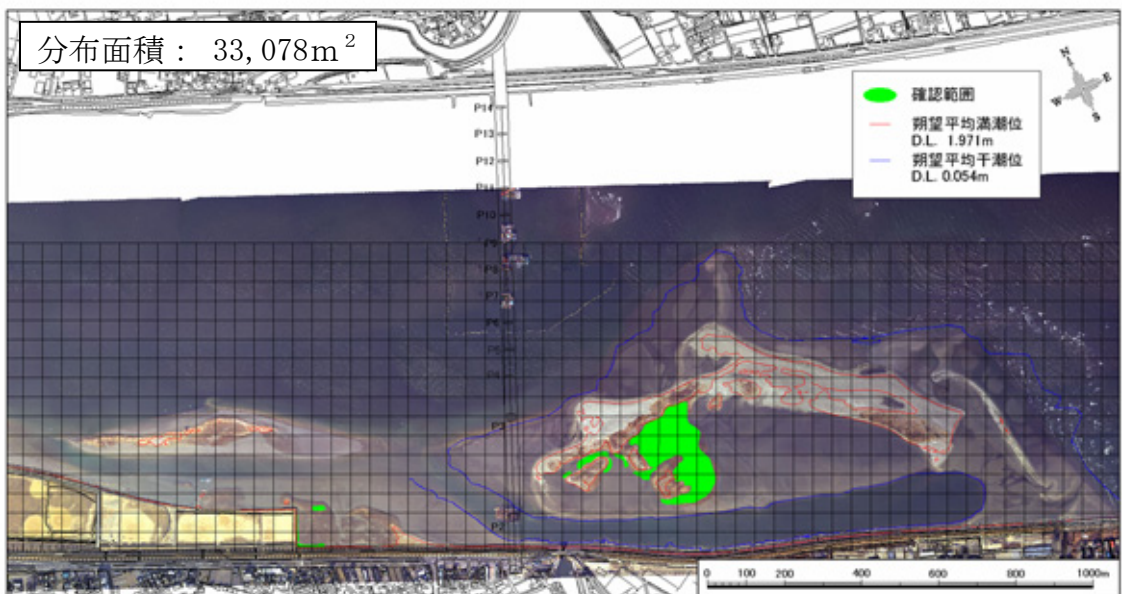


平成15年 春 フトヘナタリガイ確認範囲 (オルソ画像：平成15年8月11日撮影)



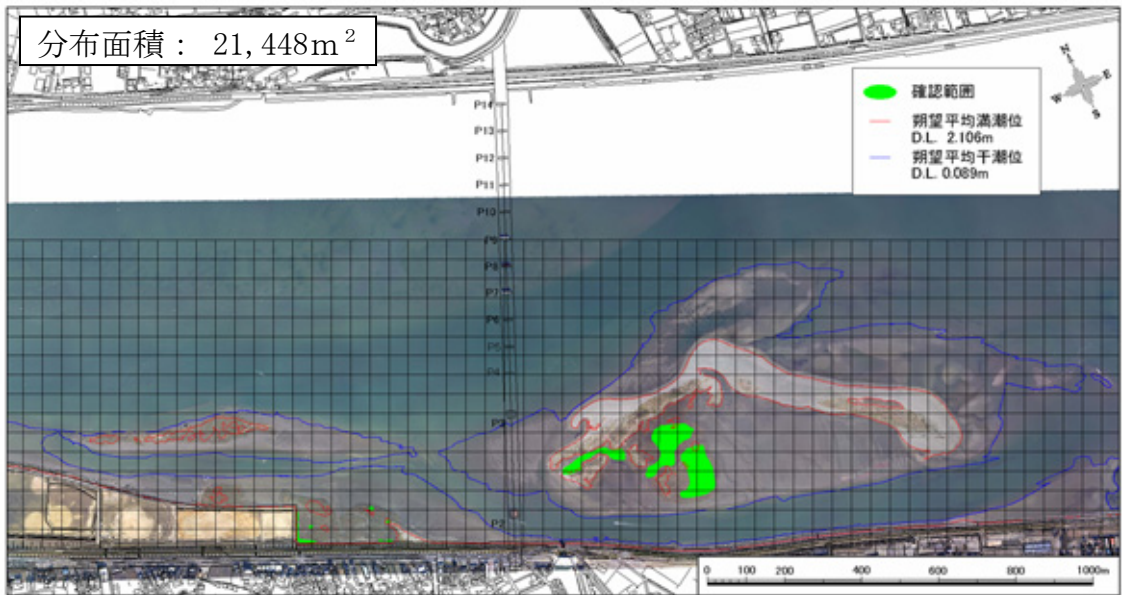
平成15年 夏 フトヘナタリガイ確認範囲 (オルソ画像：平成15年8月11日撮影)



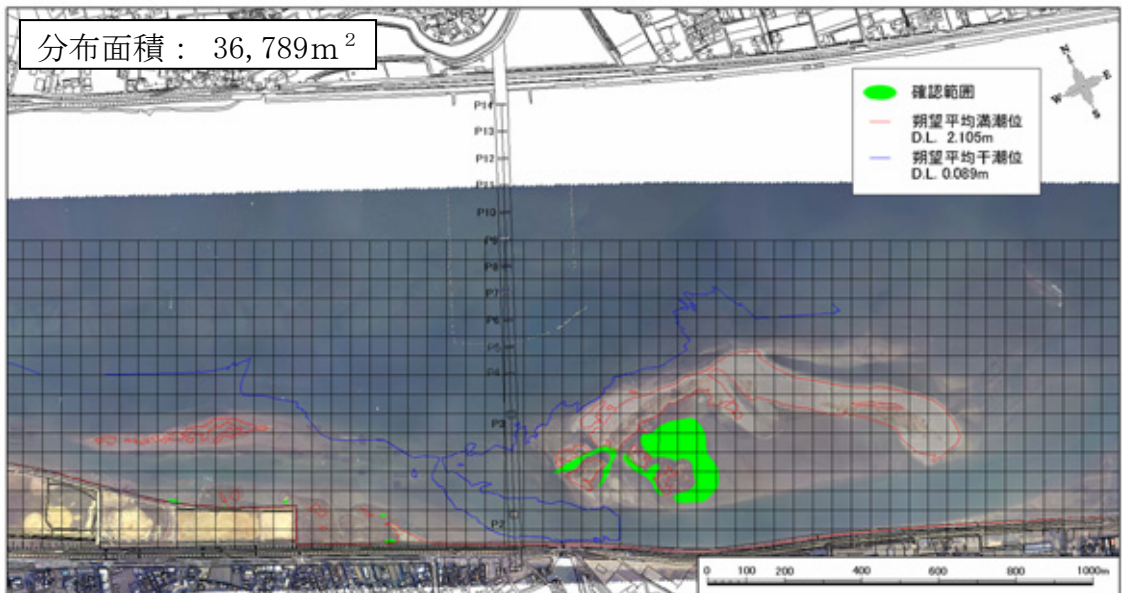
平成16年 春 フトヘナタリガイ確認範囲 (オルソ画像：平成16年3月10日撮影)

図 6-3-1-7(1) フトヘナタリガイ分布図 (1/4)

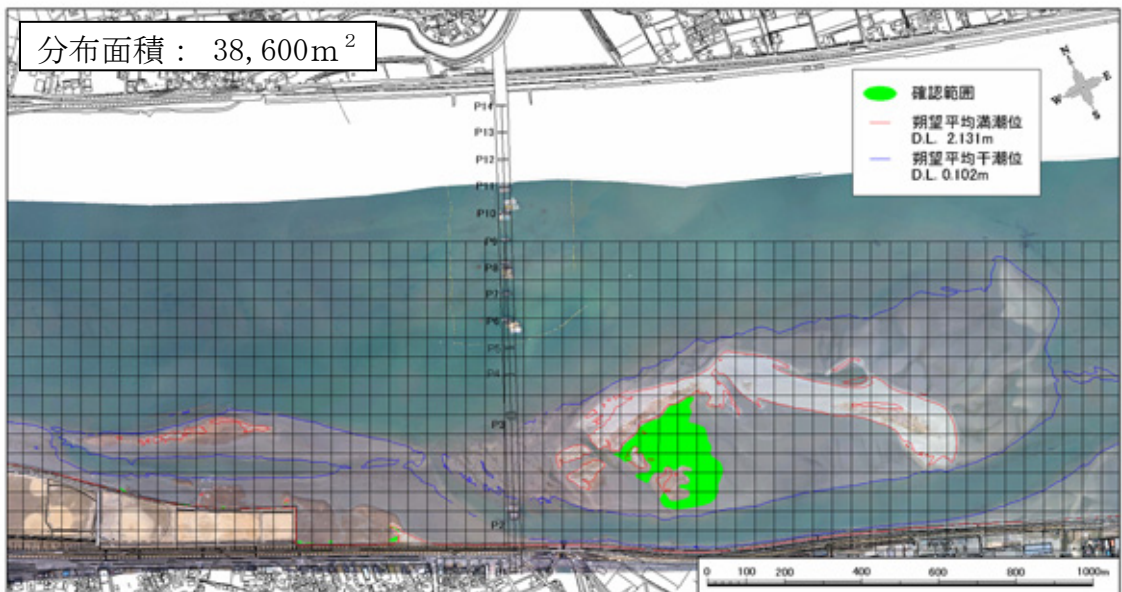




平成16年 夏 フトヘナタリガイ確認範囲 (オルソ画像：平成16年10月14日撮影)



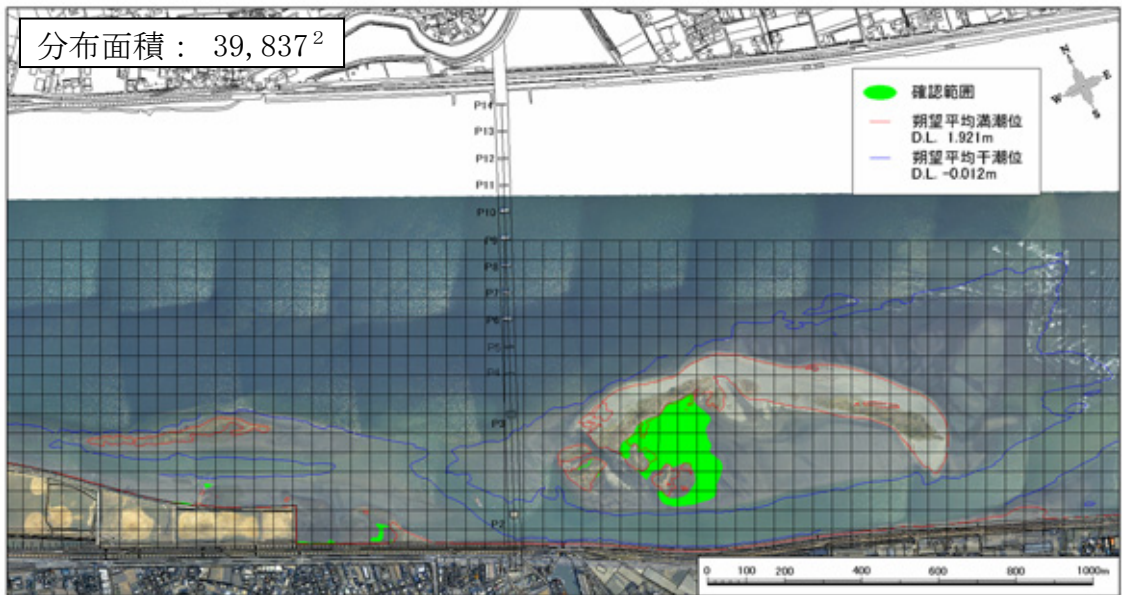
平成16年 台風後 フトヘナタリガイ確認範囲 (オルソ画像：平成16年11月8日撮影)



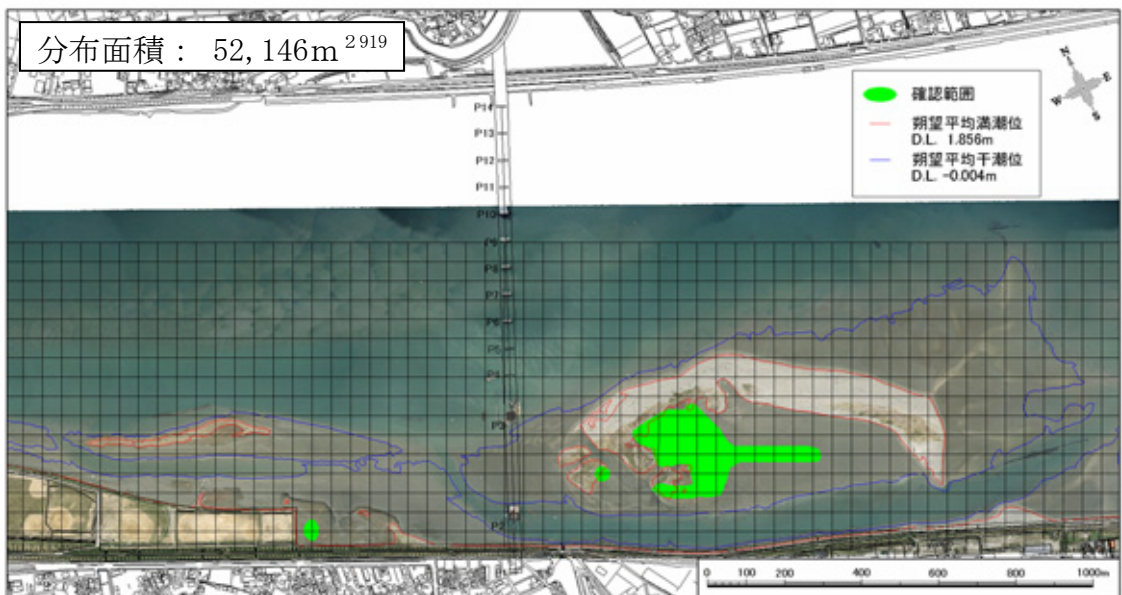
平成17年 春 フトヘナタリガイ確認範囲 (オルソ画像：平成17年3月14日撮影)

図 6-3-1-7(2) フトヘナタリガイ分布図 (2/4)

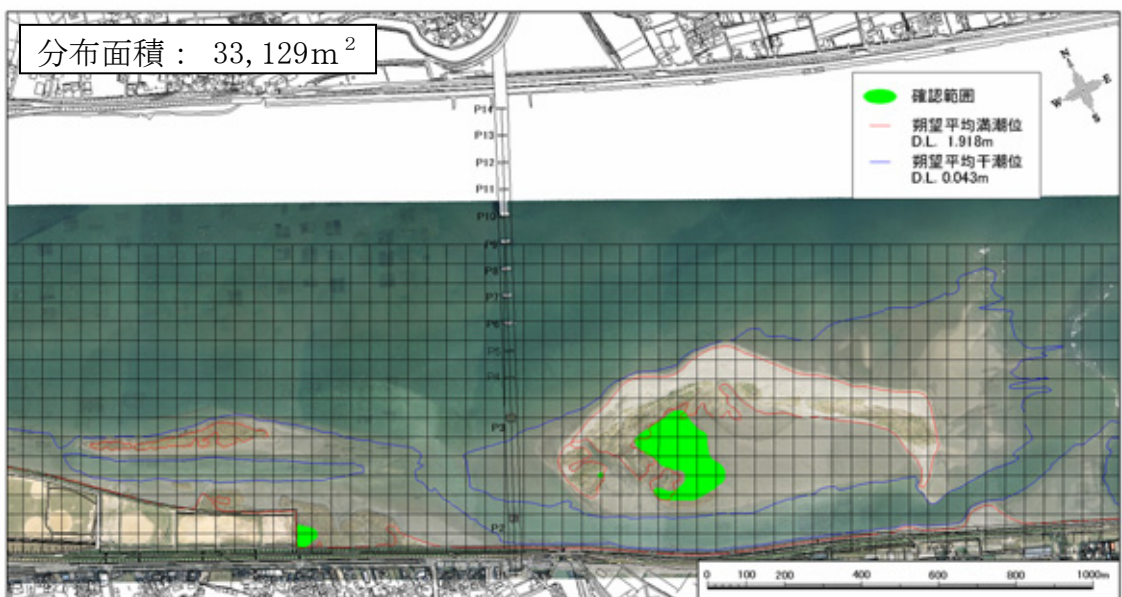




平成17年夏 フトヘナタリガイ確認範囲 (オルソ画像：平成17年9月30日撮影)

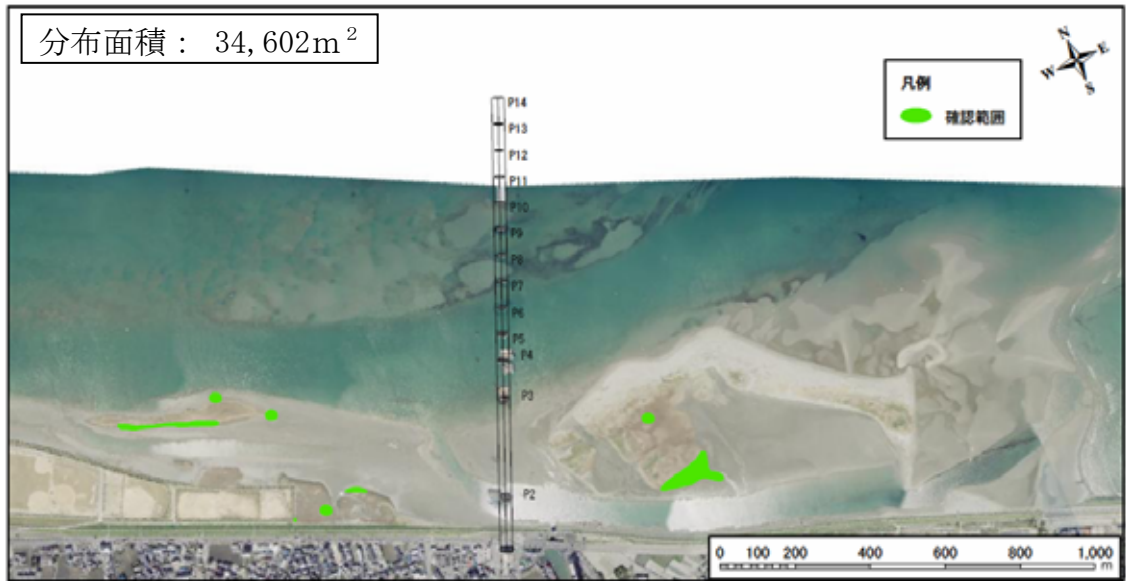


平成18年春 フトヘナタリガイ確認範囲 (オルソ画像：平成18年4月1日撮影)



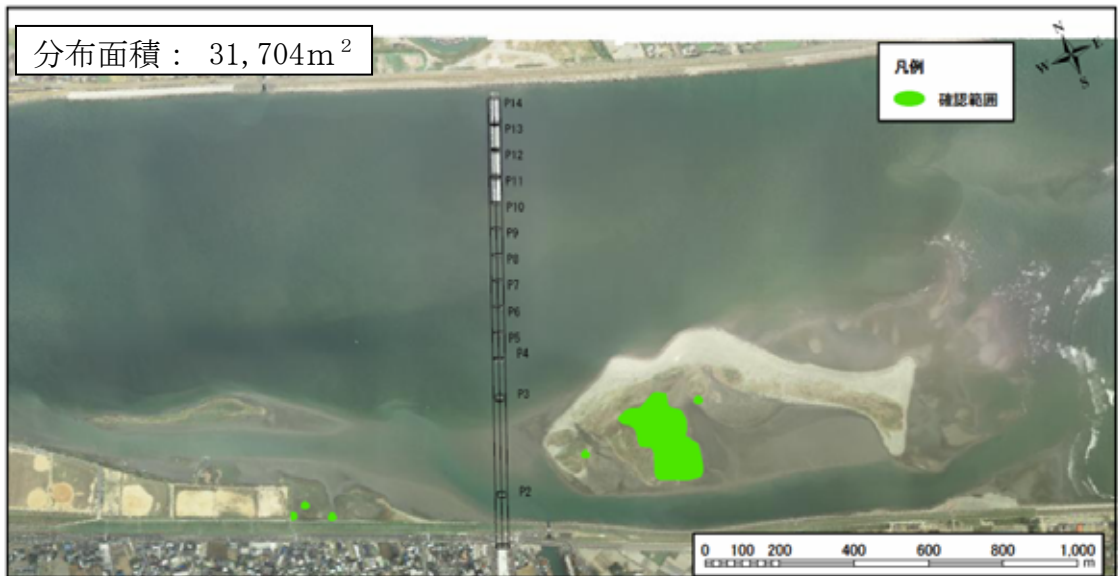
平成18年秋 フトヘナタリガイ確認範囲 (オルソ画像：平成18年11月1日撮影)

図 6-3-1-7(3) フトヘナタリガイ分布図 (3/4)



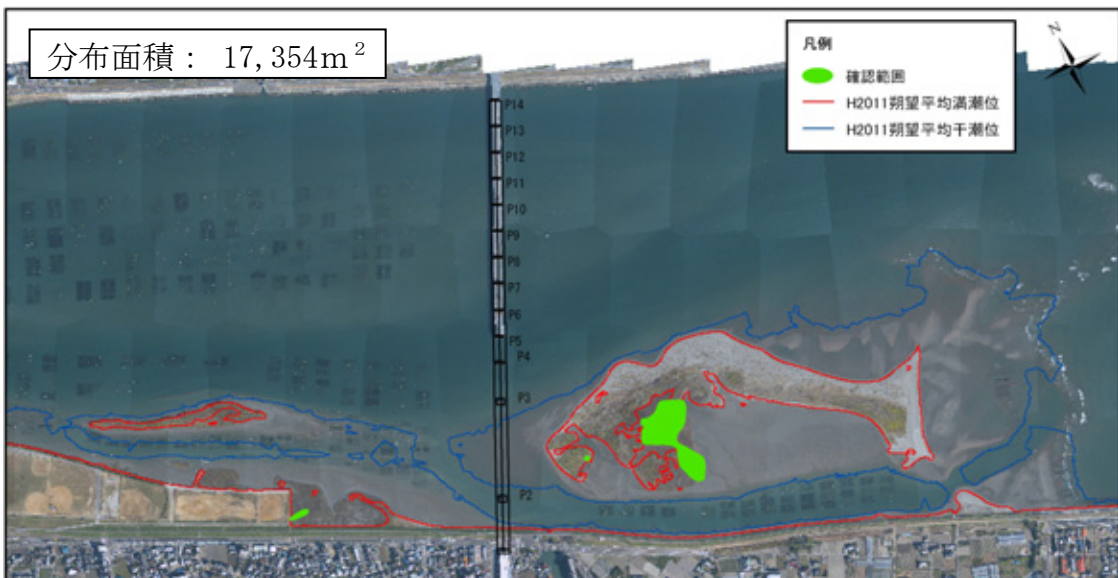
平成 19 年 春 フトヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成 19 年 4 月 19 日撮影)



平成 19 年 秋 フトヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成 19 年 10 月 7 日撮影)

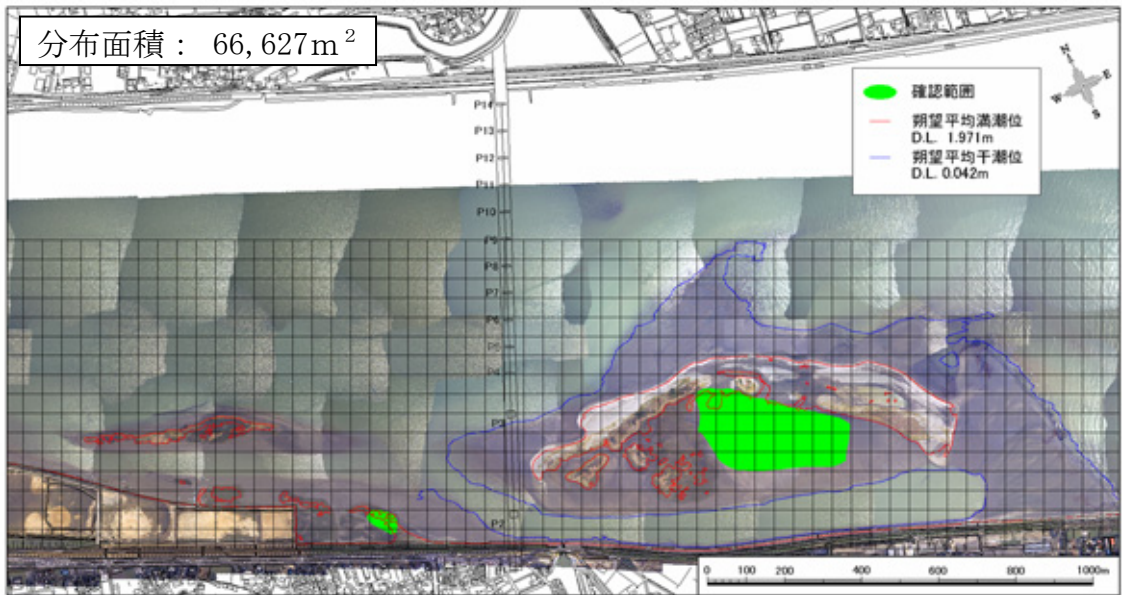


平成 20 年 秋 フトヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成 20 年 11 月 12 日撮影)

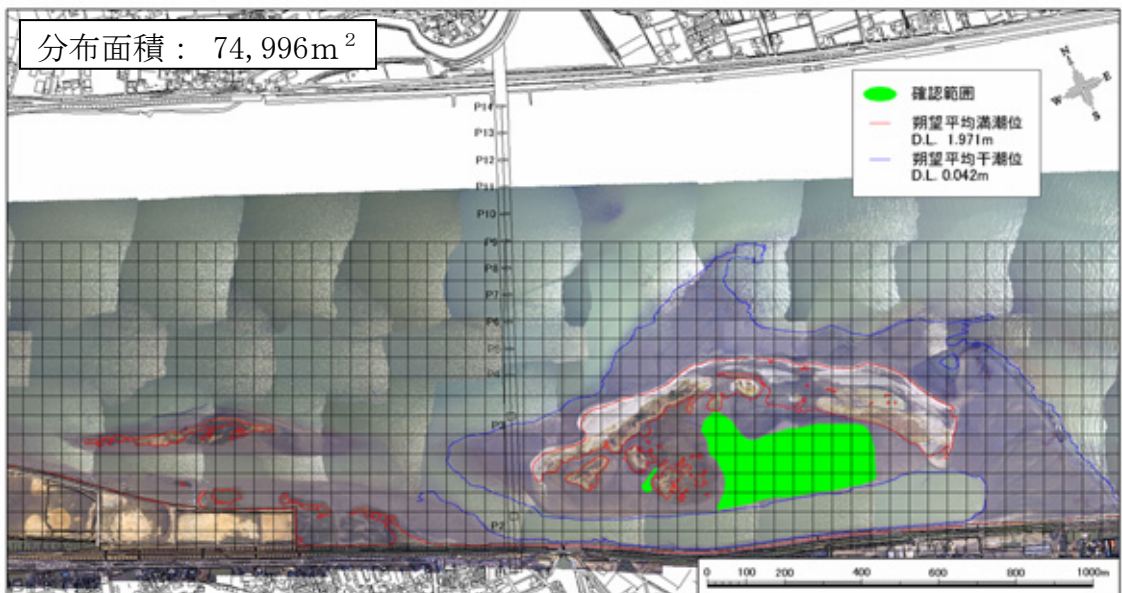
図 6-3-1-7(4) フトヘナタリガイ分布図 (4/4)





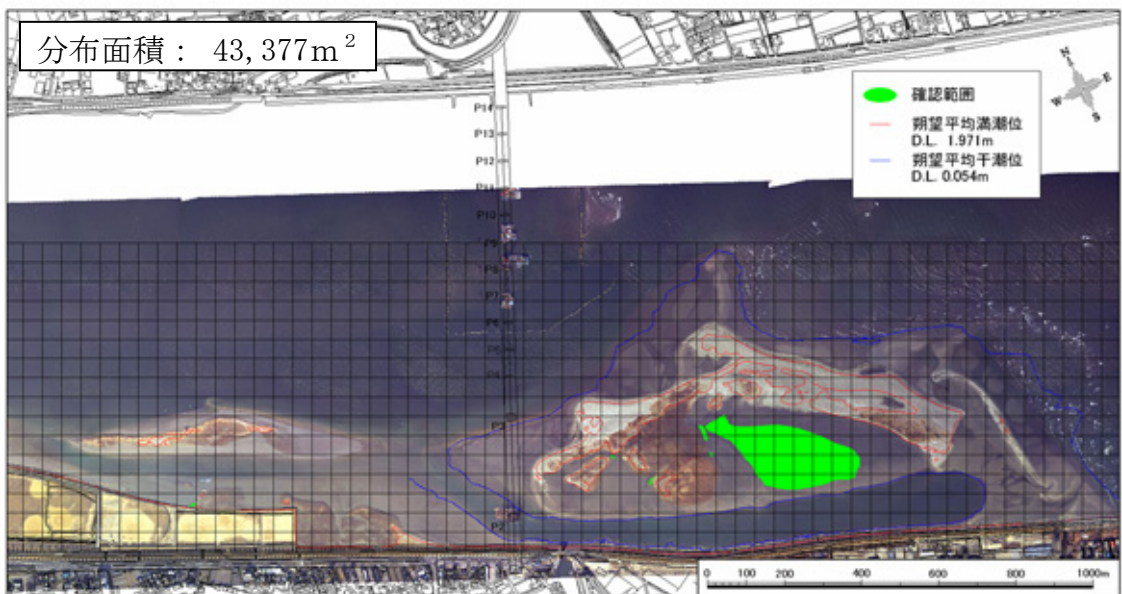
平成 15 年 春 ヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成 15 年 8 月 11 日撮影)



平成 15 年 夏 ヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成 15 年 8 月 11 日撮影)

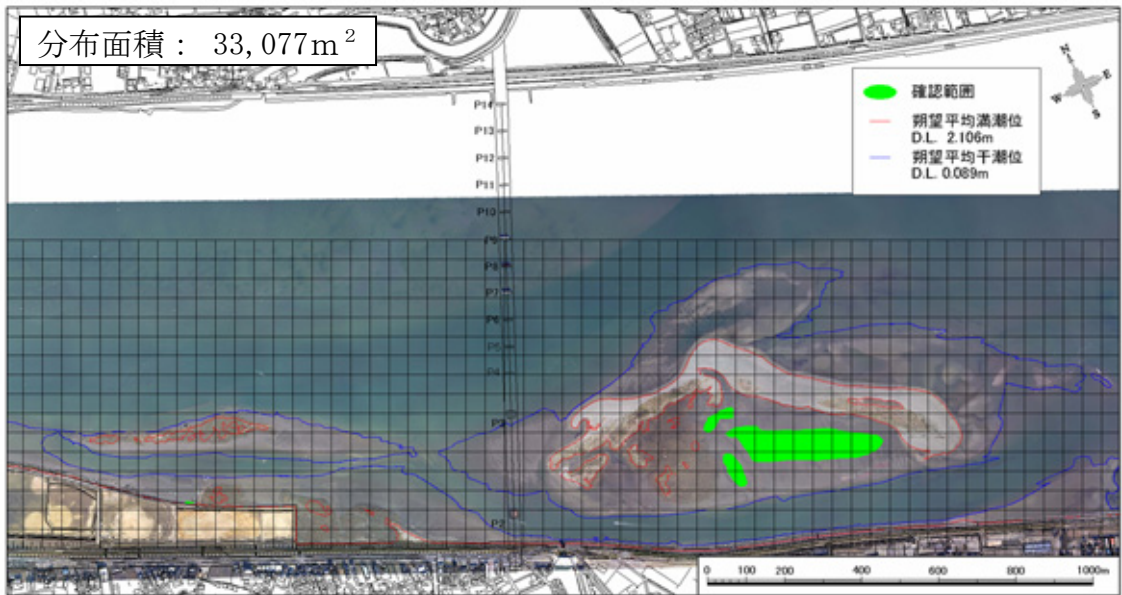


平成 16 年 春 ヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成 16 年 3 月 10 日撮影)

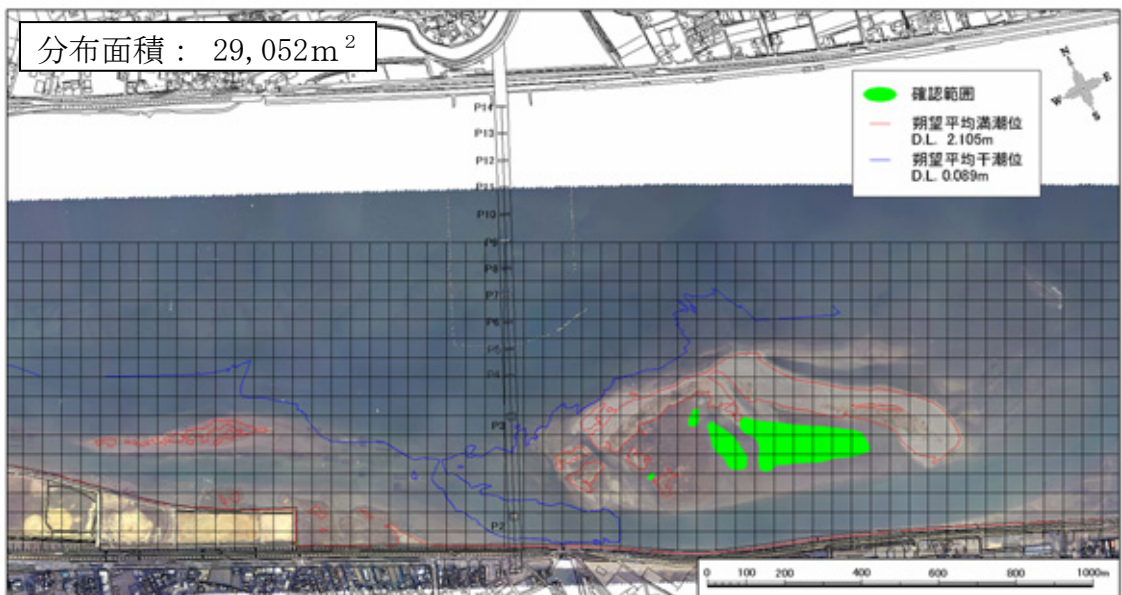
図 6-3-1-8(1) ヘナタリガイ分布図 (1/4)





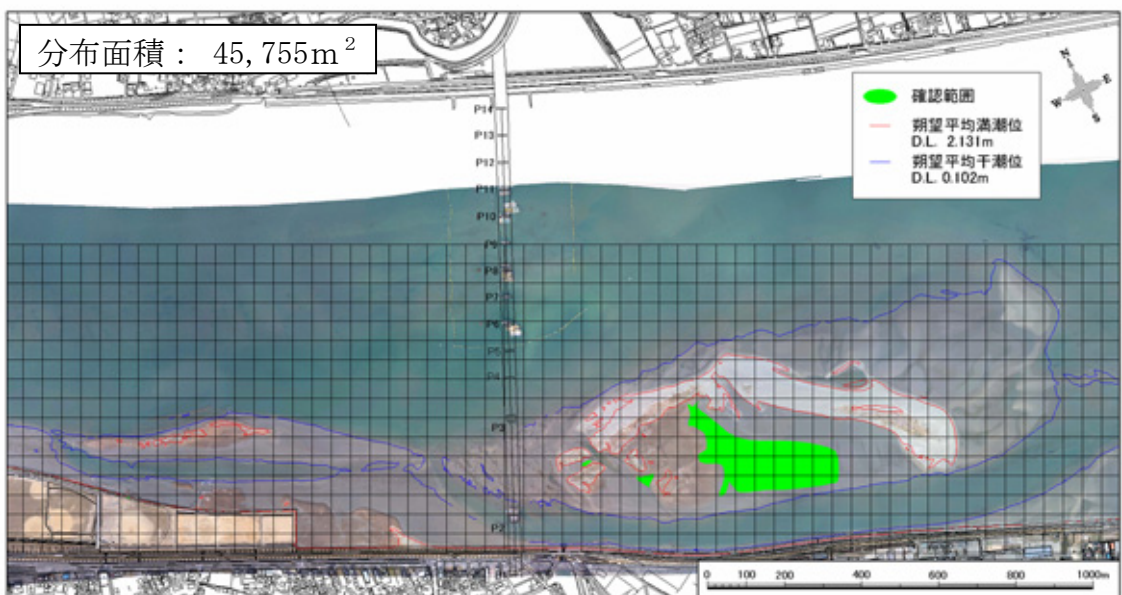
平成16年 夏 ヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成16年10月14日撮影)



平成16年 台風後 ヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成16年11月8日撮影)

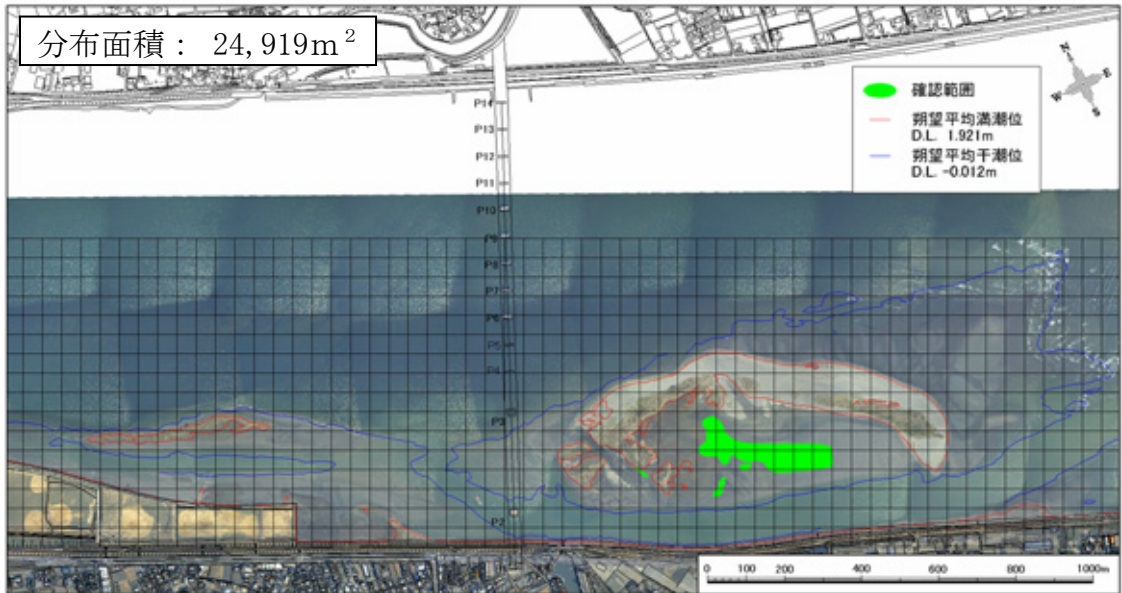


平成17年 春 ヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成17年3月14日撮影)

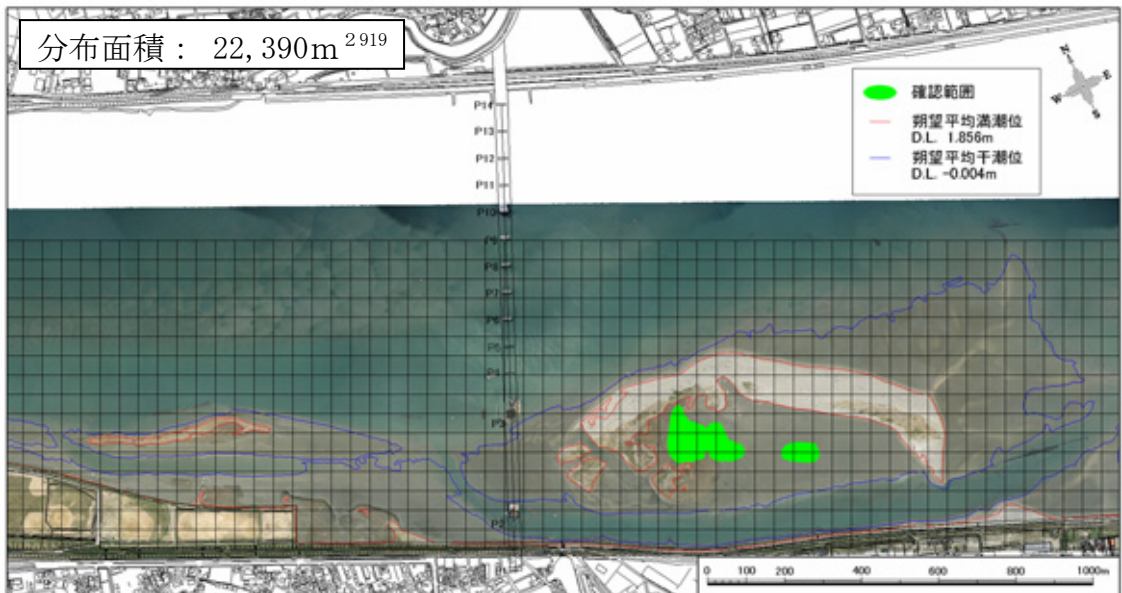
図 6-3-1-8(2) ヘナタリガイ分布図 (2/4)





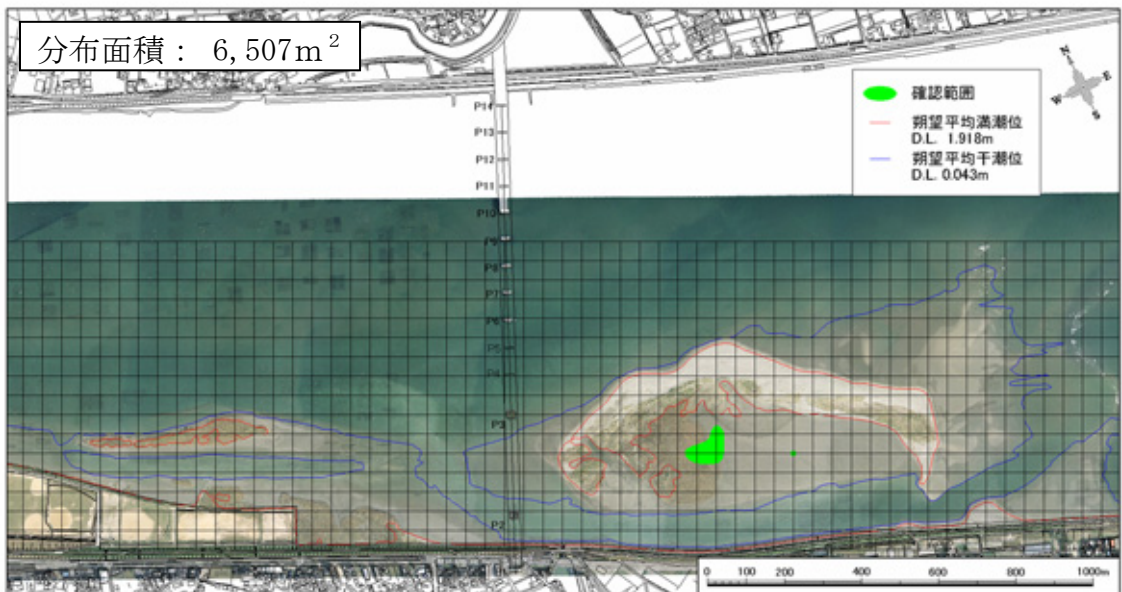
平成 17 年 夏 ヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成 17 年 9 月 30 日撮影)



平成 18 年 春 ヘナタリガイ確認範囲

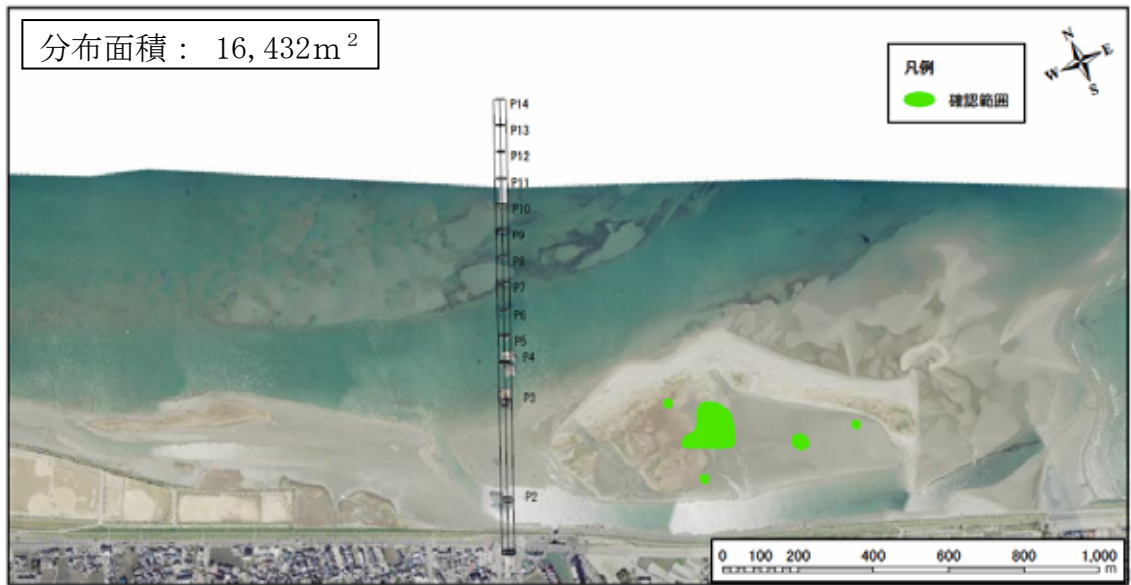
(オルソ画像：平成 18 年 4 月 1 日撮影)



平成 18 年 秋 ヘナタリガイ確認範囲

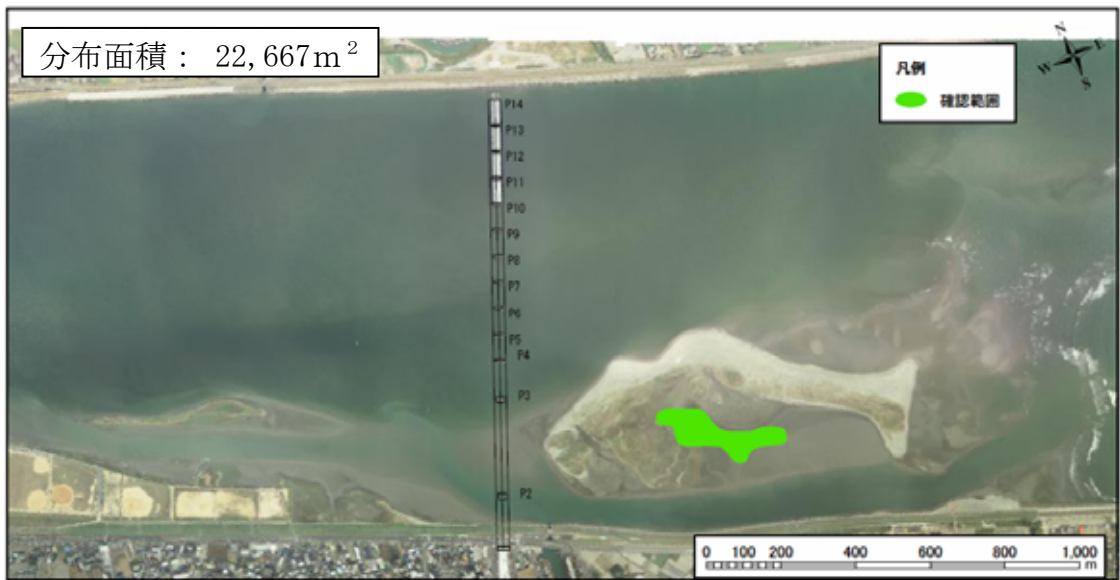
(オルソ画像：平成 18 年 11 月 1 日撮影)

図 6-3-1-8 (3) ヘナタリガイ分布図 (3/4)



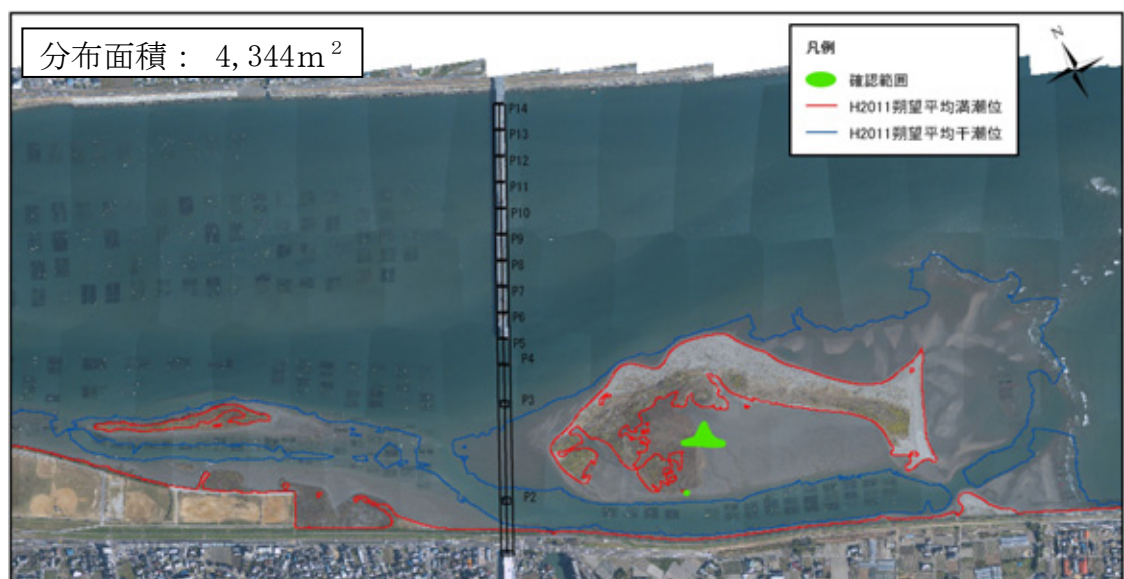
平成 19 年 春 ヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成 19 年 4 月 19 日撮影)



平成 19 年 秋 ヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成 19 年 10 月 7 日撮影)



平成 20 年 秋 ヘナタリガイ確認範囲

(オルソ画像：平成 20 年 11 月 12 日撮影)

図 6-3-1-8(4) ヘナタリガイ分布図 (4/4)



なし

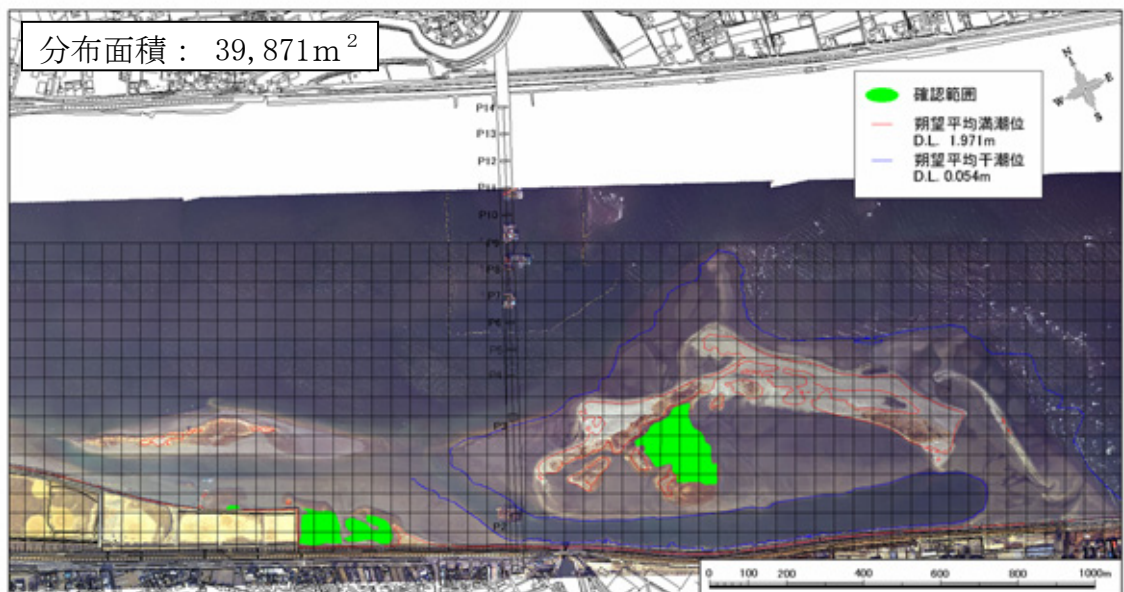
平成15年 春 ヒロクチカノコ確認範囲

(オルソ画像：平成15年8月11日撮影)

なし

平成15年 夏 ヒロクチカノコガイ確認範囲

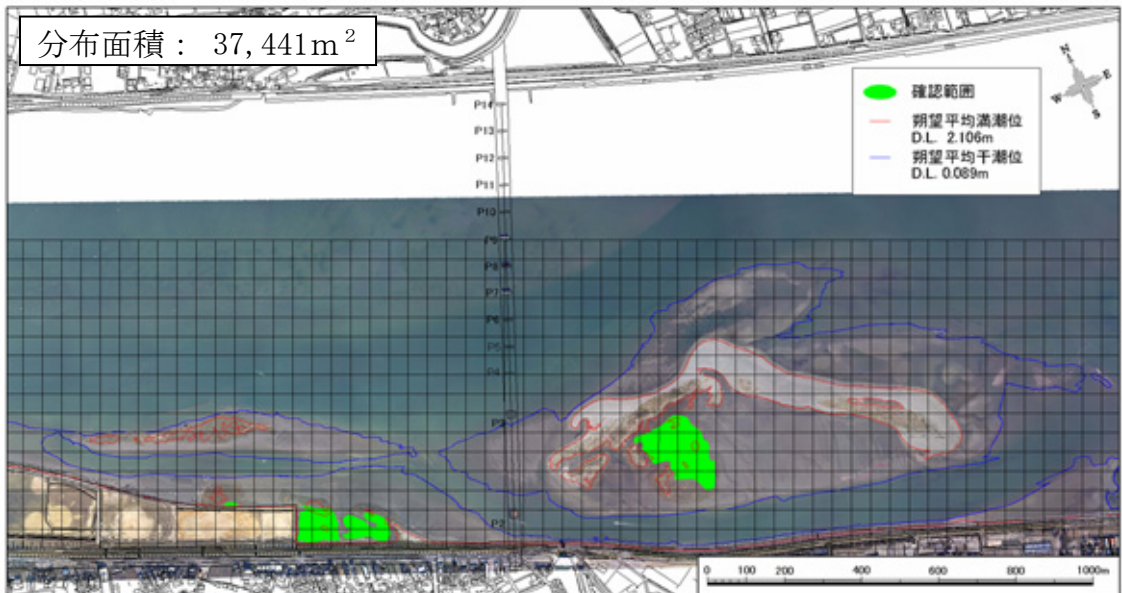
(オルソ画像：平成15年8月11日撮影)



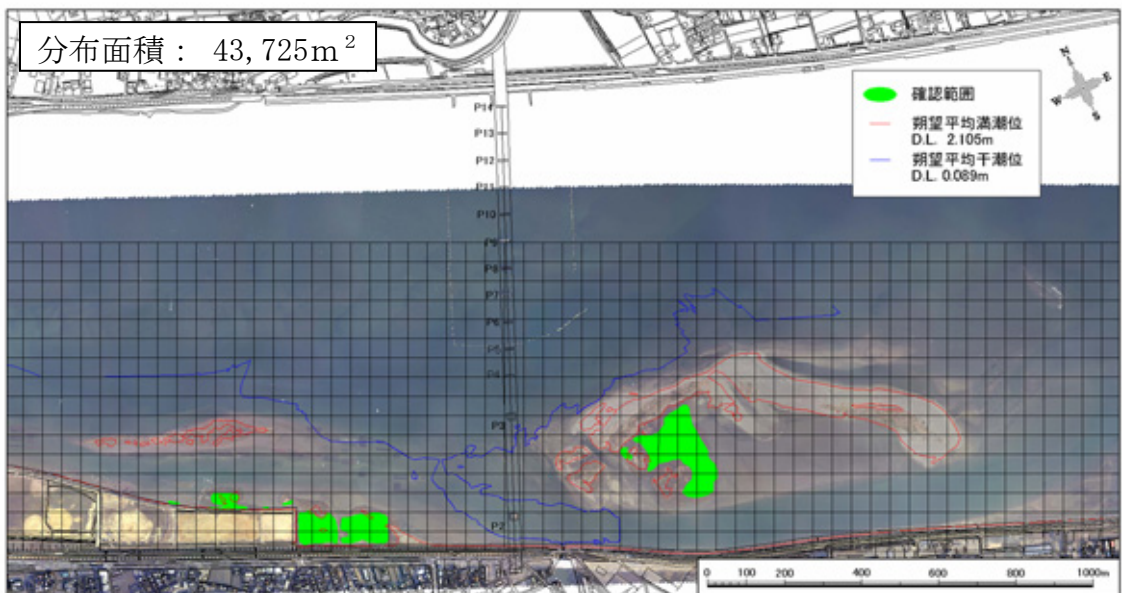
平成16年 春 ヒロクチカノコガイ確認範囲

(オルソ画像：平成16年3月10日撮影)

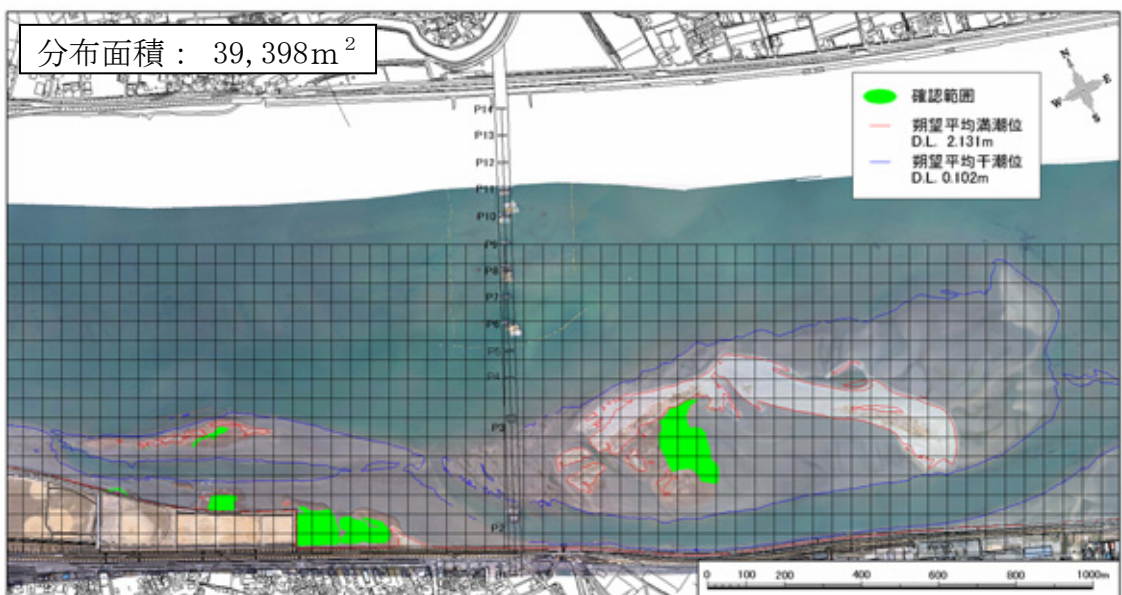
図 6-3-1-9(1) ヒロクチカノコガイ分布図 (1/4)



平成16年 夏 ヒロクチカノコガイ確認範囲 (オルソ画像：平成16年10月14日撮影)



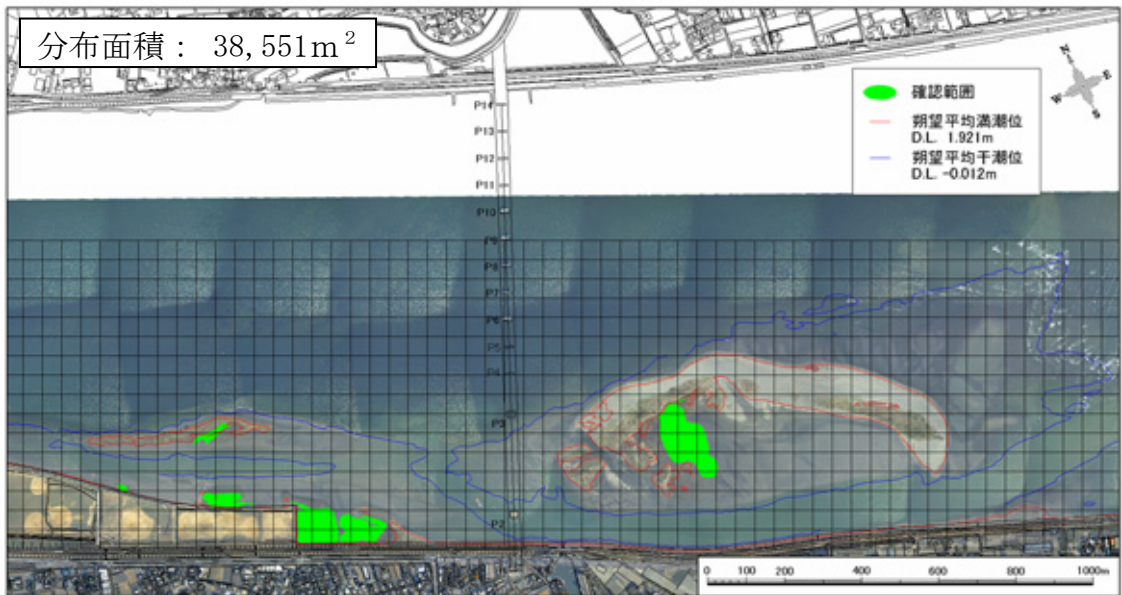
平成16年 台風後 ヒロクチカノコガイ確認範囲 (オルソ画像：平成16年11月8日撮影)



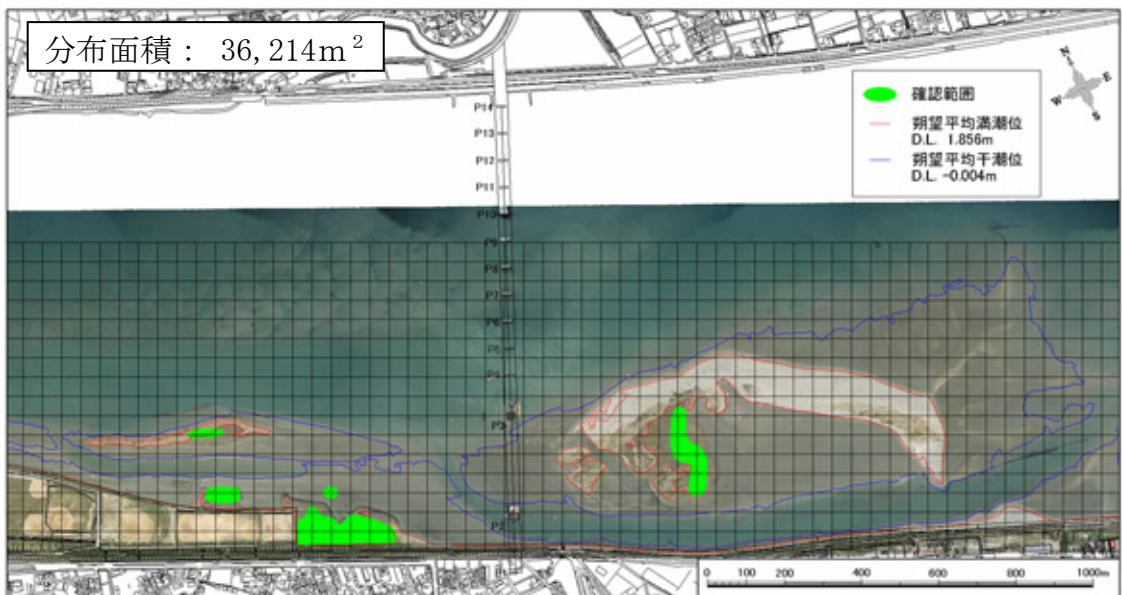
平成17年 春 ヒロクチカノコガイ確認範囲 (オルソ画像：平成17年3月14日撮影)

図 6-3-1-9(2) ヒロクチカノコガイ分布図 (2/4)

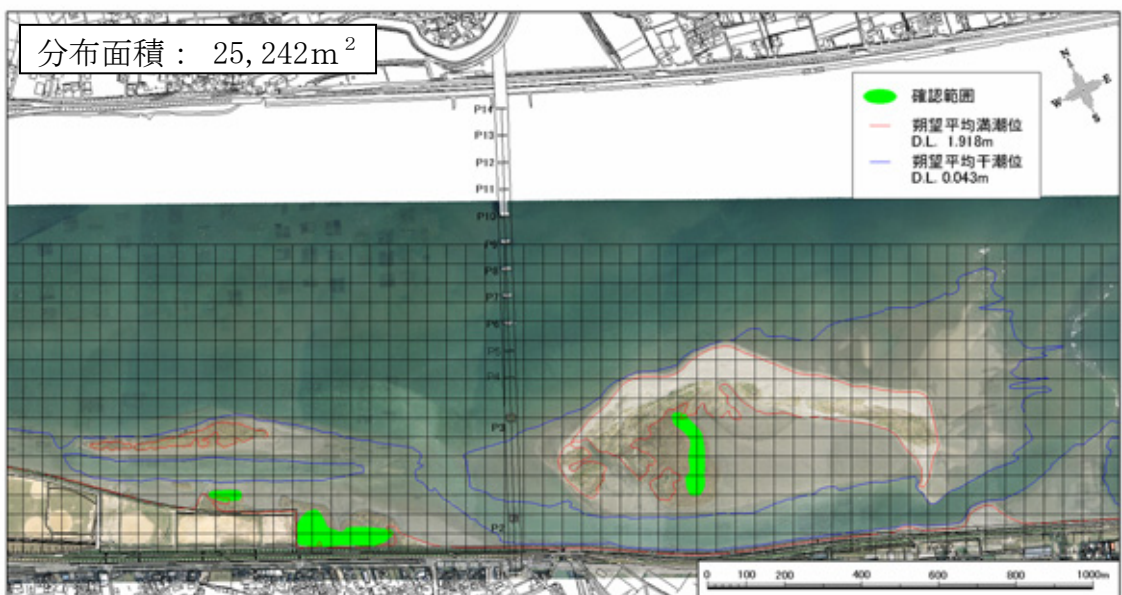




平成17年夏 ヒロクチカノコガイ確認範囲 (オルソ画像：平成17年9月30日撮影)

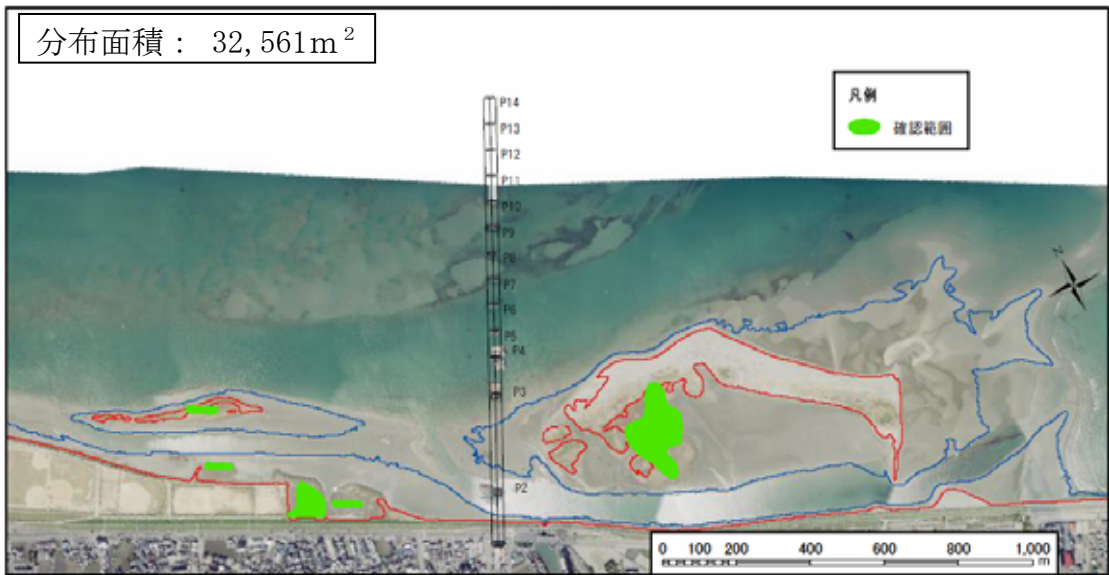


平成18年春 ヒロクチカノコガイ確認範囲 (オルソ画像：平成18年4月1日撮影)

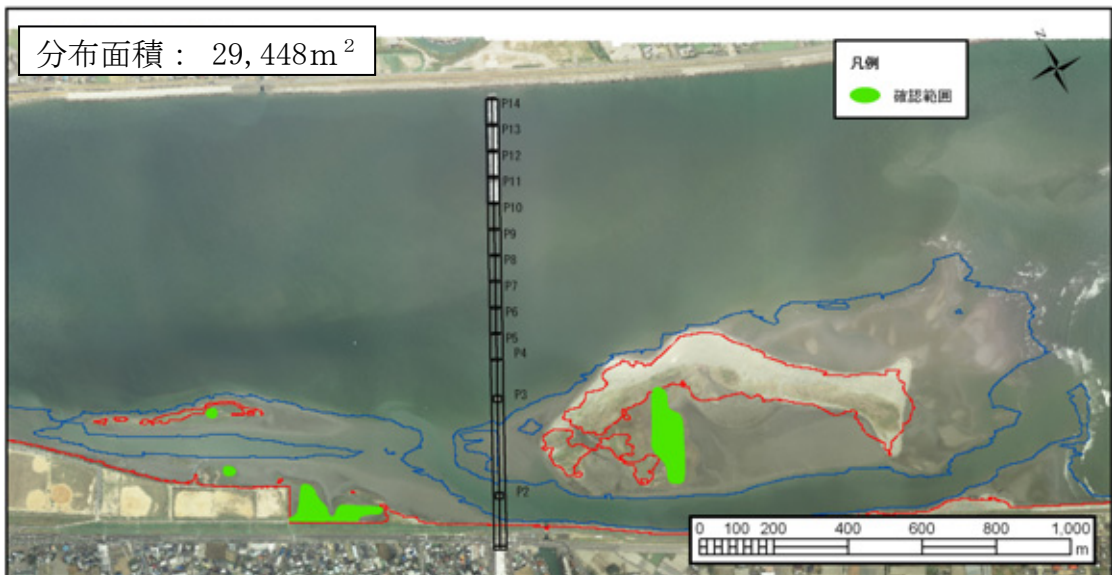


平成18年秋 ヒロクチカノコガイ確認範囲 (オルソ画像：平成18年11月1日撮影)

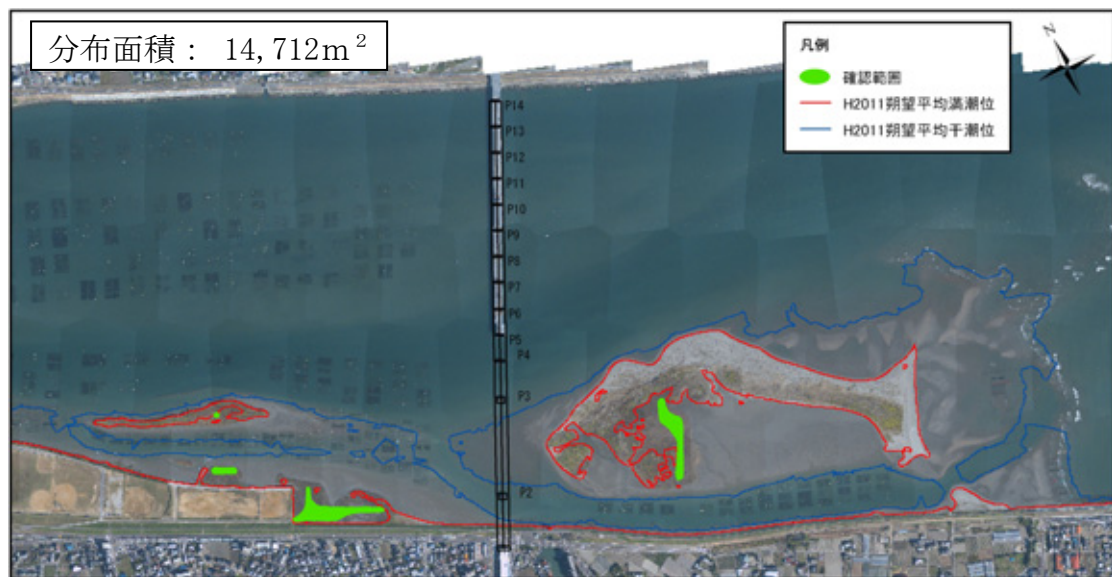
図 6-3-1-9(3) ヒロクチカノコガイ分布図 (3/4)



平成 19 年 春 ヒロクチカノコガイ確認範囲 (オルソ画像：平成 19 年 4 月 19 日撮影)



平成 19 年 秋 ヒロクチカノコガイ確認範囲 (オルソ画像：平成 19 年 10 月 7 日撮影)



平成 20 年 秋 ヒロクチカノコガイ確認範囲 (オルソ画像：平成 20 年 11 月 12 日撮影)

図 6-3-1-9(4) ヒロクチカノコガイ分布図 (4/4)



### 6-3-2 希少種の経年変化

表 6-3-2-1 に希少種の経年変化を示す。

平成 20 年度は多毛綱 2 種、腹足綱 9 種、二枚貝綱 7 種、甲殻綱 18 種、海鼠綱 2 種の合計 38 種の希少種が確認された。

新たに確認された希少種は二枚貝綱のユウシオガイ、オキナガイ、甲殻綱のヘイケガニ、ノコギリガザミの 4 種であった。

平成 15 年度から平成 20 年度まで、全 55 種の希少種が確認され、内半数弱の 22 種が 5 年以上（ほぼ毎年）確認されている。

なお、新規に確認された 4 種と同様に、1 年しか確認されなかった種は、ヒロオビヨフバイ、クリイロコシミガイ、アリソガイ、オチバガイ、ベンケイガニの 5 種であった。

表 6-3-2-1 希少種の経年変化

No.	分類群	和名	選定状況			調査年度						
			(1)	(1)'	(2)	(3)	H15	H16	H17	H18	H19	H20
1	多毛	ツバサゴカイ				希少種					●	○
2		ムギワラムシ				危険種				○△	○△	○△
3	腹足	イシヤガイ			絶滅危惧Ⅱ類				○			●
4		ヒロウチノコガイ		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅寸前種		○	○	○	○	○
5		マルウスラタマキガイ				危険種	○	○	○	○	○	○
6		エドガワミズゴマツホ		準絶滅危惧		希少種	○	○	○	○	○	○
7		カワチツホ		準絶滅危惧		危険種		○				●
8		ワカウツホ		絶滅危惧Ⅱ類		絶滅寸前種		○	○	○	○	○
9		サザナミツホ				希少種			○		○	○
10		ムシヤドリカワサシソウ		準絶滅危惧	準絶滅危惧	危険種				○	○	○
11		ヨシタカワサシソウ		絶滅危惧Ⅱ類		危険種			○	○	○	○
12		ハナタリガイ		準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	危険種	○	○	○	○	○	○
13		カワアイガイ		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	危険種		●			○	○
14		フナタリガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧	危険種	○	○	○	○	○	○
15		アカニシ			準絶滅危惧	危険種				○	○	○
16		ヒロヒメヨフバイ				絶滅寸前種					○	
17		クリロコミミガイ		絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	危険種		○				
18	二枚貝	ヤマトシジミ		準絶滅危惧			○	○	○	○		
19		マココロガイ				絶滅寸前種	○				○	○
20		ウネナシトマヤガイ		準絶滅危惧		危険種		○	○			
21		ハマクリ				危険種	○	○	●	○	○	○
22		アリソガイ				絶滅寸前種					○	
23		オチバガイ				危険種		○				
24		ユウソガイ				危険種						○
25		ハマクリガイ		絶滅危惧Ⅱ類		危険種	○	○	○	○	○	○
26		クバガイ		準絶滅危惧			○			○	○	○
27		クシケマスガイ				危険種	○	○		○	○	○
28		オノガイ				危険種				○	○	○
29		リトオリガイ				危険種	○	○	○	○	○	○
30		オキナガイ				危険種						○
31	甲殻	ヨコヤアナシヤコ			準絶滅危惧		○	○	●	○	○	○
32		ニホンスモクリ			準絶滅危惧			●		○	○	○
33		ヘイケガニ			絶滅危惧Ⅰ類							○
34		マメコシガニ			絶滅危惧Ⅰ類		○	○	●	○	○	○
35		ノキリガザミ			絶滅危惧Ⅰ類							●※
36		フタバシノ				絶滅寸前種	○	○	○		○	
37		ウモレマカニ				現状不明種			○	○	○	○
38		ムツハリアケガニ				絶滅寸前種	○	○	●	○	○	○
39		アリアケモドキ				希少種		○	○	○	○	○
40		シヨナキ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	危険種	○	○	○	○	○	○
41		ハヤシヨナキ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	危険種	○	○	○	○	○	○
42		トリウミアカイモドキ				危険種	○	○		○	○	○
43		ハマガニ			絶滅危惧Ⅱ類			○	○	○		
44		モクスガニ			絶滅危惧Ⅱ類			○	○	○	○	○
45		ヒメアシハラガニ			絶滅危惧Ⅱ類			○	○	○	○	○
46		ケフサイガニ			絶滅危惧Ⅱ類		○	○	○	○	○	○※
47		ヒメケフサイガニ				絶滅寸前種				○	●	
48		アカテガニ			準絶滅危惧		○	○			○	○
49		ウモレベシケイガニ				希少種		○			○	●
50		ユビアカベシケイガニ			絶滅危惧Ⅱ類		○	○	○	○	○	○
51		クシテガニ			絶滅危惧Ⅱ類	希少種	○	○	○	○	○	○
52		フタバカクガニ			絶滅危惧Ⅱ類			○	○	○	○	○※
53		ベシケイガニ			絶滅危惧Ⅱ類				○			
54	海鼠	ウチワカサマコ				危険種					○	○
55		トゲイカリマコ				危険種					○	○
合計			2	16	24	39	22	34	28	36	43	38

は平成15年度から継続して確認されている種を示す。  
 △印で示したムギワラムシは棲管は確認出来たが、ムギワラムシ本体は採取されていない。また、※印は目視でのみ確認した種を示す  
 太字の種は今年度新たに確認された希少種を示す。  
 ●印は底生生物調査では確認されず、同年に実施した魚類調査のみ確認された種を示す。

① 「改訂日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—・甲殻類等」：環境省（2006年2月）  
 準絶滅危惧 = 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する要素を有するもの

①' 「鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて・その他無脊椎動物」：環境省（2006年12月）  
 「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて・貝類」：環境省（2007年8月）  
 絶滅危惧Ⅰ類 = 絶滅の危機に瀕している種  
 絶滅危惧Ⅱ類 = 絶滅の危険が増大している種  
 準絶滅危惧 = 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する要素を有するもの

② 「徳島県の絶滅のおそれのある野生生物—徳島県版レッドデータブック—」：徳島県（2001年）  
 絶滅危惧Ⅰ類 = 徳島県において、絶滅の危機に瀕している種。  
 絶滅危惧Ⅱ類 = 徳島県において、絶滅の危機が増大している種。  
 準絶滅危惧 = 徳島県において、現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。

③ 「WWF Japan Science Report Vol13(日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状)」：WWF Japan（1996年）  
 絶滅寸前 = 人為の影響の如何に問わず、個体数が異常に減少し、放置すればやがて絶滅すると推定される種。  
 危険 = 絶滅に向けて進行しているとみなされる種、今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。  
 希少 = 特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種。  
 現状不明 = 最近の生息の状況が乏しい種。



### 6-3-3 出現種の経年変化

表 6-3-3-1 に出現種の経年変化を星取表で示す。

なお、出現種の計数に当たっては、表 6-3-3-1 の全年度の出現種リストを元に計数し、同定が門～属止まりの種については、他の調査年度であっても同門～同属の生物で種レベルまで確認されている場合は、出現種として計数しなかった。このため、平成 20 年度の確認種類数は、6-2-2 に示した種類数より少ない値となっている。

経年的な種類数の変化は、調査項目、調査地点等が多くなった平成 18 年度以降は 150 種以上確認され、平成 17 年度以前より多くなっていた。

平成 20 年度は秋季のみ調査が行われ、平成 18、19 年度より調査回数は少なかったものの、種類数は平成 19 年度と大差無い種類数が確認された（平成 19 年度 205 種、平成 20 年度 201 種）。

また、経年的な出現種の傾向としては、平成 15 年度から継続して節足動物門、環形動物門、軟体動物門が多数確認され、顕著な変化は認められなかった。

なお、指標種は概ね継続して確認されているが、平成 20 年度はイトメ、ホソウミニナが確認出来なかった。

表 6-3-3-1(1) 出現種の経年変化 (1/11)

No.	分類群						H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度			
	門	綱	目	科	和名	学名	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種			
1	刺胞動物	花虫	イソギンチャク	ムシトキギンチャク	ムシトキギンチャク科	Edwardsiidae					○				
-								○	○	○	○	○	○		
2			海綿	ウミサボテン	ウミサボテン			<i>Cavernularia obesa</i>					○		
3			ハナギンチャク	ハナギンチャク	ハナギンチャク科	Cerianthidae					○				
4	扁形動物	渦虫	多岐腸	-	多岐腸目	Polycladida		○	○		○	○			
5	紐形動物	ヒモムシ	ホリヒモムシ	ケファロツリックス	ケファロツリックス科	Cephalothrichidae				○					
6				ツブラス	-	ツブラス目	Palaeonemertea				○				
7				ヒモムシ	リネウス	リネウス科	Lineidae				○	○	○		
8		ハリヒモムシ	ハリヒモムシ	アムフィポールス	-		<i>Zygonemertes</i> sp.				○				
-											○	○	○		
-							ハリヒモムシ目	Hoploneurtea				○	○	○	
-						紐形動物門	Nemertinea	○	○	○		○	○		
9	星口動物	スジホシムシ	フクロホシムシ	スジホシムシ	クロホシムシ	<i>Thysanocardia nigra</i>				○	○	○			
-					星口動物門	Sipuncula			○		○	○			
10	環形動物	多毛	サンバゴカイ	ウロコムシ	-	<i>Harmothoe</i> sp.			○		○				
-									○				○		
11						ナリウロコムシ	-		<i>Sthenelais</i> sp.					○	○
12									<i>Sthenolepis</i> sp.				○		○
-								ナリウロコムシ科	Sigalionidae			○			
13						サンバゴカイ	-		<i>Anaitides</i> sp.	○	○			○	
14									<i>Eteone</i> sp.	○	○		○	○	○
15									<i>Eumida</i> sp.			○			○
16									<i>Phyllodoce</i> sp.					○	
-								サンバゴカイ科	Phyllodocidae			○		○	
17						カキゴカイ	クシカキゴカイ		<i>Sigambra phuketensis</i>	○				○	
-									<i>Sigambra</i> sp.				○	○	○
-								カキゴカイ科	Pilargidae						○
18						カキアソゴカイ	カキアソゴカイ		<i>Paralacydonia paradoxa</i>					○	
19						オトヒメゴカイ	-		<i>Ophiodromus</i> sp.						○
20									<i>Gyptis</i> sp.				○	○	○
21						シリス	シリス	シリス亜科	Syllinae					○	
22						ゴカイ	-		<i>Leonnates</i> sp.						○
23							コケゴカイ		<i>Ceratonereis erythraeensis</i>	○	○	○	○	○	○
24							ヤマトカワゴカイ		<i>Hediste diadroma</i>	○	○				
-									<i>Hediste</i> sp.			○	○	○	
25							スナイソゴカイ		<i>Perinereis nuntia brevicirris</i>					○	○
26							イシソゴカイ		<i>Perinereis nuntia</i> var. <i>vallata</i>				○		
27				オウキゴカイ		<i>Nectoneanthes latipoda</i>		○	○	○	○	○			
28				ツルヒケゴカイ		<i>Platynereis bicanaliculata</i>			○		○				
29				イトメ		<i>Tylorrhynchus heterochaetus</i>			○	○	○	○			
-				ゴカイ科		Nereidae					○				

注1：同定結果が属や科止まりの種については、過去にその属や科の生物が出現していない場合のみ1種として計数した。

注2：指標種は水色で示した。



表 6-3-3-1(2) 出現種の経年変化 (2/11)

No.	分類群						H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度						
	門	綱	目	科	和名	学名	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種						
30	環形動物	多毛	サシバコカイ	シロガネコカイ	トウウシロガネコカイ	<i>Aglaophamus sinensis</i>			○		○							
-									<i>Aglaophamus</i> sp.			○						
31								コクチョウシロガネコカイ	<i>Nephtys californiensis</i>					○				
32								ミナシロガネコカイ	<i>Nephtys polybranchia</i>				○	○	○			
33								コノハシロガネコカイ	<i>Nephtys oligobranchia</i>				○	○	○			
-									<i>Nephtys</i> sp.		○	○		○	○			
34								チロリ	チロリ	<i>Glycera subaenea</i>				○				
-										<i>Glycera</i> sp.	○	○	○	○	○			
35								ニカイチロリ		<i>Glycinde</i> sp.	○	○	○	○	○			
36										<i>Goniada</i> sp.	○	○	○	○	○			
37							イソメ	イソメ		<i>Marphysa</i> sp.						○		
38												<i>Lysidice</i> sp.					○	
39										キホシイソメ	カタマガリキホシイソメ	<i>Scoletoma longifolia</i>	○		○			
40											コアシキホシイソメ	<i>Lumbrineris nipponica</i>				○	○	
41											アシナガキホシイソメ	<i>Lumbrineris longifolia</i>				○	○	
-												<i>Lumbrineris</i> sp.	○	○			○	
42												<i>Scoletoma</i> sp.			○			
43										ナナテイソメ	スコカイイソメ	<i>Diopatra bilobata</i>				○	○	○
44									ホコサキコカイ	ホコサキコカイ	ナガホコムシ	<i>Haploscoloplos elongatus</i>					○	○
45														<i>Scoloplos</i> sp.				○
46							スピオ	スピオ	ケンサキシピオ	<i>Aonides oxycephala</i>			○	○	○	○		
-												<i>Aonides</i> sp.	○	○				
47										ヤマトスピオ	<i>Prionospio japonica</i>	○	○	○	○	○	○	
48										フタエラスピオ	<i>Prionospio sexoculata</i>						○	
49										イトエラスピオ	<i>Prionospio pulchra</i>	○				○	○	
50										エーレルシスピオ	<i>Prionospio ehlersi</i>						○	
51										ソテナガスピオ	<i>Prionospio depauperata</i>						○	
-												<i>Prionospio</i> sp.				○	○	
52												<i>Boccardiella</i> sp.			○			
53												<i>Pseudopolydora</i> sp.	○	○	○	○	○	
54										<i>Paraprionospio</i> sp.TypeA				○	○			
55										<i>Polydora</i> sp.				○	○			
56										<i>Rhynchospio</i> sp.			○	○	○			
57										<i>Scolecipis</i> sp.				○	○			
58										<i>Spio</i> sp.					○			
59									エラナシスピオ	<i>Spiophanes bombyx</i>					○	○		
-										<i>Spiophanes</i> sp.					○			
-									スピオ科	Spionidae	○	○	○			○		
60					モロゴカイ	モロゴカイ	モロゴカイ	<i>Magelona japonica</i>				○	○	○				
-										<i>Magelona</i> sp.					○			

注1：同定結果が属や科止まりの種については、過去にその属や科の生物が出現していない場合のみ1種として計数した。

注2：指標種は水色で示した。

表 6-3-3-1(3) 出現種の経年変化 (3/11)

No.	分類群						H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度				
	門	綱	目	科	和名	学名	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種				
61	環形動物	多毛	スビオ	ツバサゴカイ	ツバサゴカイ	<i>Chaetopterus variopedatus</i>					○	○				
62					ムキワラムシ	<i>Mesochaetopterus japonicus</i>			○	○	○					
63			ミスヒキゴカイ	ミスヒキゴカイ	ミスヒキゴカイ	ミスヒキゴカイ	<i>Cirriiformia tentaculata</i>				○	○	○			
64						—	<i>Chaetozone</i> sp.				○	○	○			
65						—	<i>Tharyx</i> sp.				○	○	○			
—						ミスヒキゴカイ科	Cirratulidae				○					
66						ヒメエラゴカイ	—	<i>Aricidea</i> sp.					○			
67						ホエキロキータス	—	<i>Poecilochaetus</i> sp.					○			
68						ヒトエラゴカイ	ヒトエラゴカイ	—	<i>Cossura</i> sp.				○	○		
69						ダルマゴカイ	ダルマゴカイ	ダルマゴカイ	<i>Sternaspis scutata</i>				○	○		
70						イトゴカイ	イトゴカイ	イトゴカイ	—	<i>Capitella capitata</i>	○					
—									—	<i>Capitella</i> sp.				○		
71			—	<i>Heteromastus</i> sp.	○				○			○	○			
72			—	<i>Mediomastus</i> sp.	○							○	○			
73			—	<i>Notomastus</i> sp.								○	○			
—			イトゴカイ科	Capitellidae								○	○			
74			タケフシゴカイ	タケフシゴカイ科	Maldanidae							○	○			
75			チマキゴカイ	チマキゴカイ	チマキゴカイ				<i>Owenia fusiformis</i>					○		
76			オフエリアゴカイ	オフエリアゴカイ	—				<i>Armandia</i> sp.						○	
77									—	<i>Euzonus</i> sp.				○	○	○
78						—	<i>Travisia</i> sp.					○	○			
79						フサゴカイ	ウミサゴムシ	ウミサゴムシ	<i>Lagis bocki</i>					○	○	
80			フサゴカイ	フサゴカイ	フサゴカイ	—	<i>Pectinaria</i> sp.						○			
—						ウミサゴムシ科	Pectinariidae					○	○			
81						カンムリゴカイ	—	<i>Idanthyrus</i> sp.					○	○		
82						—	<i>Lysilla</i> sp.					○	○	○		
83						—	<i>Amaeana</i> sp.					○	○	○		
84						—	<i>Amphitrite</i> sp.						○	○		
85						—	<i>Nicolea</i> sp.						○	○		
86						—	<i>Lanice</i> sp.							○		
—						フサゴカイ科(アンフィトリテ亜科)	Amphitritinae					○				
—						フサゴカイ科(ポリキルス亜科)	Polycirrinae					○				
—	フサゴカイ科	Terebellidae							○	○						
87	ケヤリ	ケヤリ	ケヤリ	—	<i>Chone</i> sp.			○	○	○	○					
88				—	<i>Euchone</i> sp.				○	○	○					
89				—	<i>Pseudopotamilla</i> sp.					○	○					
90				—	<i>Potamilla</i> sp.					○	○	○				
—				ケヤリ科	Sabellidae			○	○	○						
91				カンザシゴカイ	カニヤドリカンザシゴカイ	<i>Ficopomatus enigmaticus</i>				○						
92	貧毛	ナガミス	フタミス	イソミス	<i>Pontodrilus matsushimensis</i>				○							

注1：同定結果が属や科止まりの種については、過去にその属や科の生物が出現していない場合のみ1種として計数した。

注2：太字は希少種を示す。また、指標種は水色で示した。



表 6-3-3-1(4) 出現種の経年変化 (4 / 11)

No.	分類群					学名	H15年度 確認種	H16年度 確認種	H17年度 確認種	H18年度 確認種	H19年度 確認種	H20年度 確認種
	門	綱	目	科	和名							
-	環形動物	貧毛	ナガミス	フミス	-	<i>Pontodrilus</i> sp.		○				
93	触手動物	簞虫	簞虫	ホウキムシ	-	<i>Phoronis</i> sp.		○	○			○
94	軟体動物	腹足	原始腹足	リュウテンサザエ	-	<i>Homalopoma</i> sp.		○				
95				ニシキウスガイ	キサコ	<i>Umbonium costatum</i>					○	○
96				アマオブネガイ	イシマキガイ	<i>Clithon retropictus</i>					○	○
97					ヒロクチカノガイ	<i>Neritina cornucopia</i>		○	○	○	○	○
98			中腹足	タマキビガイ	マルウスラタマキビガイ	<i>Littoraria articulata</i>	○	○	○	○	○	
99					タマキビガイ	<i>Littorina brevicula</i>		○			○	
100				ミスゴマツホ	エトガワミスゴマツホ	<i>Stenothyra edogawaensis</i>	○	○	○	○	○	○
-					-	<i>Stenothyra</i> sp.	○					
101				カリバガサガイ	シマメノウフネガイ	<i>Crepidula onyx</i>					○	○
102				タマガイ	ツメタガイ	<i>Glossaulax didyma</i>				○	○	○
-					タマガイ科	Noticidae					○	○
103				カワゲチツホ	カワゲチツホ	<i>Iravadia elegantula</i>		○			○	○
104					ワカウラツホ	<i>Iravadia sakaguchii</i>		○	○	○	○	
105				ササナミツホ	ササナミツホ	<i>Elachisina zizac</i>			○		○	○
106				カワザンショウガイ	カワザンショウ	<i>Assiminea japonica</i>				○	○	○
107					ムシヤトリカワザンショウ	<i>Assiminea parasitologica</i>				○	○	○
108					クワイロカワザンショウ	<i>Angustassiminea castanea</i>				○	○	○
109					ヨシダカワザンショウ	<i>Angustassiminea yoshidayukioi</i>				○	○	
110					ヒラドカワザンショウ	<i>Assiminea hiradoensis</i>				○	○	○
-					カワザンショウガイ属	<i>Assiminea</i> spp.				○	○	○
-					カワザンショウガイ科	Assimineidae	○	○	○		○	○
111				リソツホ	リソツホ科	Rissoidae			○			
112				ウミナ	ホソウミナ	<i>Batillaria cumingii</i>		○	○	○	○	
-					ウミナ科	Batillariidae			○			
113				フトヘナタリガイ	フトヘナタリガイ	<i>Cerithidea cingulata</i>	○	○	○	○	○	○
114					カワアイガイ	<i>Cerithidea djadjariensis</i>		○			○	
115					フトヘナタリガイ	<i>Cerithidea rhizophorarum</i>	○	○	○	○	○	○
116				オニツノガイ	シマハマツホ	<i>Australaba picta</i>						○
117			異腹足	イトカケガイ	イトカケガイ科	Epitoniidae					○	
118			新腹足	アクキガイ	アクキガイ	<i>Rapana thomasiana</i>					○	○
-					アクキガイ科	Muricidae					○	○
119				フトコロガイ	ムギガイ	<i>Mitrella bicincta</i>						○
120				ムシロガイ	アラムシロガイ	<i>Reticunassa festiva</i>	○	○	○	○	○	○
121					キヌホラ	<i>Reticunassa japonica</i>						○
122					ヒメムシロガイ	<i>Reticunassa multigranosa</i>					○	
-					ヒメムシロ属	<i>Reticunassa</i> sp.						○
123					ヒロオビヨフバイ	<i>Zeuxis succinctus</i>					○	
-					ムシロガイ科(オリレヨフバイ科)	Nassariidae		○				

注1：同定結果が属や科止まりの種については、過去にその属や科の生物が出現していない場合のみ1種として計数した。

注2：太字は希少種を示す。また、指標種は水色で示した。

表 6-3-3-1(5) 出現種の経年変化 (5/11)

No.	分類群						H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度		
	門	綱	目	科	和名	学名	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種		
124	軟体動物	腹足	腸紐	トウガ`タガイ	トウガ`タガイ科	Pyramidellidae					○	○		
125			頭楯	ヘコミツラガイ	ヘコミツラガイ科	Retusidae		○	○					
126				スイフガイ	スイフガイ科	Cylichnidae		○		○	○	○	○	
127				キセワタガイ	キセワタガイ	<i>Philine argentata</i>				○	○	○		
128					ヨコヤマキセワタ	<i>Yokoyamaia ornatissima</i>							○	
129					ヘコミツラガイ	マツシマコメツブ	<i>Retusa matsusima</i>				○	○	○	
-					-	頭楯目	Cephalaspidea			○				
130				無楯	アメフラシ	トゲアメフラシ	<i>Bursatella leachii</i>						○	
131				背楯	カメノコアシエラガイ	ウミフクロウ	<i>Pleurobranchaea japonica</i>						○	
132				基眼	オカミガイ	ク`リイロコミミガイ	<i>Laemodonta siamensis</i>		○					
133				二枚貝	フネガイ	フネガイ	フネガイ科	Arcidae						○
134					イガイ	イガイ	ホトキ`スガイ	<i>Musculista senhousia</i>	○	○	○	○	○	○
135							コウロエンカワヒバリガイ	<i>Xenostrobus securis</i>		○	○	○		○
136					ウゲイスガイ	ハボ`ウキガイ	ハボ`ウキガイ科	Pinnidae						○
137						ミノガイ	ユキミノガイ属	<i>Limaria</i> sp.						○
138						イタホ`カキ	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>		○	○	○	○	○
-							イタホ`カキ科	Ostreidae			○			
139					マルスダレガイ	シジミ	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>	○	○	○	○		
-							ヤマトシジミ属	<i>Corbicula</i> sp.			○		○	○
140					ウロコガイ	ウロコガイ科	Galeommatidae					○		
141					マコ`コロガイ	マコ`コロガイ	<i>Peregrinamor ohshimai</i>	○			○	○	○	
142					ケシトリガイ	ケシトリガイ	<i>Alveolus ojanus</i>			○		○		
143					フナガ`タガイ	ウネナシトマヤガイ	<i>Trapezium liratum</i>		○	○				
144					ブンブ`クヤドリガイ	ブンブ`クヤドリガイ科	Montacutidae			○		○	○	
145					ザルガイ	トリガイ	<i>Fulvia mutica</i>			○				
146						チコトリガイ	<i>Fulvia hungerfordi</i>				○	○	○	
147			マルスダレガイ			ヒメカノアサリ	<i>Veremolpa micra</i>			○			○	
148						カガミガイ	<i>Phacosoma japonicum</i>		○		○	○	○	
149					アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	○	○	○	○	○	○		
150					コタマガイ	<i>Gomphina melanaegis</i>		○		○	○	○		
151					オキアサリ	<i>Gomphina semicancellata</i>			○		○			
-					フキアケ`アサリ属	<i>Gomphina</i> sp.		○						
152					ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i>	○	○	○	○	○	○		
-				ハマグリ属	<i>Meretrix</i> sp.			○	○	○	○			
153				オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>	○	○	○	○	○	○			
154				イヨスダレ	<i>Paphia undulata</i>				○	○	○			
-				マルスダレガイ科	Veneridae	○				○	○			
155			ハ`カガイ	アリソガイ	<i>Coelomactra antiquata</i>					○				
156				ハ`カガイ	<i>Mactra chinensis</i>		○	○	○	○	○			
157				シオフキガイ	<i>Mactra veneriformis</i>						○			

注1：同定結果が属や科止まりの種については、過去にその属や科の生物が出現していない場合のみ1種として計数した。

注2：太字は希少種を示す。また、指標種は水色で示した。



表 6-3-3-1(6) 出現種の経年変化 (6/11)

No.	分類群						H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度			
	門	綱	目	科	和名	学名	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種			
-	軟体動物	二枚貝	マルスタレガイ	ハカガイ	ハカガイ属	<i>Mactra</i> sp.						○			
158					チヨノハナガイ	<i>Raetellops pulchellus</i>			○	○	○	○			
-						ハカガイ科	Mactridae							○	
159						フジノハナガイ	フジノハナガイ	<i>Chion semigranosa</i>		○		○	○	○	
160						シオサザナミガイ	イソシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	○	○	○	○	○	○	
161							オチハカガイ	<i>Psammotaea virescens</i>		○					
-							マスオガイ属	<i>Psammotaea</i> sp.						○	
-							シオサザナミガイ科	Psammobiidae				○			
162							アサジガイ	シスウガイ	<i>Theora fragilis</i>		○	○	○	○	○
163							ニッコウガイ	ヒメシラトリガイ	<i>Macoma incongrua</i>			○		○	○
-								シラトリガイ属	<i>Macoma</i> sp.		○				
164								ユウシオガイ	<i>Moerella rutila</i>						○
-								モモノハナガイ属	<i>Moerella</i> sp.						○
165								サクラガイ	<i>Nitidotellina nitidula</i>					○	○
166								ハナグモリガイ	<i>Glauconome chinensis</i>	○	○	○	○	○	○
167								チドリマスオガイ	<i>Coecella chinensis</i>	○			○		
168								マテガイ	ミソガイ	<i>Siliqua pulchella</i>				○	○
169									マテガイ	<i>Solen strictus</i>		○	○	○	○
-									マテガイ属	<i>Solen</i> sp.	○				○
170							オオノガイ	オオノガイ	<i>Venatomya truncata</i>	○	○		○	○	○
171								オオノガイ	<i>Mya arenaria oonogai</i>				○	○	
172								ニオガイ	カモメガイモドキ	<i>Martesia striata</i>			○		
173							ウミタケガイモドキ	オキナガイ	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	○	○	○	○	○
174					オキナガイ	<i>Laternula anatina</i>					○				
175	節足動物	甲殻	完胸	フジツボ	タテジマフジツボ	<i>Balanus amphitrite</i>		○							
176						サンカクフジツボ	<i>Balanus trigonus</i>								
177						シロスジフジツボ	<i>Balanus albicostatus</i>				○			○	
178							ドロフジツボ	<i>Balanus kondakovi</i>				○		○	
179							アメリカフジツボ	<i>Balanus eburneus</i>			○	○		○	
180								ヨーロッパフジツボ	<i>Balanus improvisus</i>				○	○	
181							コノハエビ	コノハエビ	<i>Nebalia japonensis</i>			○		○	
182							アミ	アミ	ナミフクロアミ	<i>Archaeomysis japonica</i>	○	○		○	
-									アルケオミシス属	<i>Archaeomysis</i> sp.				○	○
183									クロイサザアミ	<i>Neomysis awatschensis</i>				○	○
-									イサザアミ属	<i>Neomysis</i> sp.				○	○
-									アミ科	Mysidae			○		
184							クーマ	クーマ	クーマ属	<i>Diastylis</i> sp.	○				
185									サザナミクーマ属	<i>Dimorphostylis</i> sp.	○	○		○	○
-									クーマ科	Diastylidae			○		
186							等脚	スナウミナナフシ	スナウミナナフシ属	<i>Cyathura</i> sp.	○	○	○	○	○

注1：同定結果が属や科止まりの種については、過去にその属や科の生物が出現していない場合のみ1種として計数した。

注2：太字は希少種を示す。また、指標種は水色で示した。

表 6-3-3-1(7) 出現種の経年変化 (7/11)

No.	分類群						H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度		
	門	綱	目	科	和名	学名	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種		
-	節足動物	甲殻	等脚	スナウミナナフシ	スナウミナナフシ科	Anthuridae			○					
187				ヘラムシ	ホソヘラムシ	<i>Cleantoides planicauda</i>				○				
188					ワラジヘラムシ属	<i>Synidotea</i> sp.					○			
189					ナギサスナホリムシ属	<i>Eurydice</i> sp.	○	○	○	○	○			
190					ヒメスナホリムシ	<i>Exciorolana chiltoni</i>	○	○	○	○	○	○		
191					コツブムシ	ナナツバコツブムシ	<i>Sphaeroma sieboldii</i>				○	○		
-						コツブムシ属	<i>Sphaeroma</i> sp.			○				
192						シリケンウミセミ	<i>Dynoides dentisinus</i>					○		
193						イソコツブムシ属	<i>Gnорimosphaeroma</i> sp.	○			○	○		
194						ウオノエ	-	<i>Aegathoa</i> sp.				○		
195					端脚	スガメソコエビ	クビナガスガメ	<i>Ampelisca brevicornis</i>			○	○	○	○
-							スガメソコエビ属	<i>Ampelisca</i> sp.	○				○	
196							ヒサシソコエビ	スナカキソコエビ属	<i>Harpiniopsis</i> sp.				○	○
197						イシクヨコエビ	イシクヨコエビ科	Isaeidae					○	
198						マルソコエビ	マルソコエビ属	<i>Urothoe</i> sp.	○	○	○	○	○	
199						クチバシソコエビ	クチバシソコエビ属	<i>Monoculodes</i> sp.			○	○	○	
200							カンフーソコエビ属	<i>Perioculodes</i> sp.					○	
201							サンバクソコエビ属	<i>Synchelidium</i> sp.		○			○	
-							クチバシソコエビ科	Oedicerotidae	○					
202						メリタヨコエビ	メリタヨコエビ属	<i>Melita</i> sp.	○				○	
203						ハマトビムシ	ヒメハマトビムシ	<i>Platorchestia platensis</i>	○	○				
-							ヒメハマトビムシ属	<i>Platorchestia</i> sp.					○	
204							ヒゲナガハマトビムシ	<i>Trinorchestia trinitatis</i>				○		
205							スナハマトビムシ属	<i>Talorchestia</i> sp.				○		
-							ハマトビムシ科	Talitridae		○	○	○	○	
206						モクスヨコエビ	モクスヨコエビ属	<i>Hyale</i> sp.			○	○		
207						ユンホソコエビ	ニホンドロソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>	○			○	○	
-							ドロソコエビ属	<i>Grandidierella</i> sp.		○	○			
-							ユンホソコエビ科	Aoridae					○	
208						イシクヨコエビ	ソコエビ属	<i>Ganmmaropsis</i> sp.					○	
209							カマカヨコエビ属	<i>Kamaka</i> sp.			○		○	
210							クダオソコエビ属	<i>Photis</i> sp.	○				○	
211						ヒゲナガヨコエビ	ヒゲナガヨコエビ属	<i>Ampithoe</i> sp.	○		○		○	
212						アオラ	ユンホソコエビ属	<i>Aoroides</i> sp.	○					
213						ユンホソコエビ	ドロソコエビ属	<i>Grandidierella</i> sp.					○	
214						トロクダムシ	ホソツツムシ	<i>Cerapus tubularis</i>				○		
215							ニホンドロクダムシ	<i>Corophium volutator japonica</i>				○	○	
-							ドロクダムシ属	<i>Corophium</i> sp.	○	○			○	
216						ホソヨコエビ	<i>Erichthonius pugnax</i>				○	○		
-						ホソヨコエビ属	<i>Erichthonius</i> sp.			○				

注1：同定結果が属や科止まりの種については、過去にその属や科の生物が出現していない場合のみ1種として計数した。



表 6-3-3-1(8) 出現種の経年変化 (8/11)

No.	分類群						H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度		
	門	綱	目	科	和名	学名	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種		
-	節足動物	甲殻	端脚	ドロクダムシ	ドロクダムシ科	Corophiidae			○					
217				エンマヨコエビ	トゲホソヨコエビ属	<i>Paradexamine</i> sp.					○			
218			ワレカラ	ワレカラ属	<i>Caprella</i> sp.				○		○			
219			十脚	クルマエビ	シハエビ	シハエビ属	<i>Metapenaeus joyneri</i>		○		○	○	○	
220					ヨシエビ	ヨシエビ属	<i>Metapenaeus ensis</i>		○		○			
221					クルマエビ	クルマエビ属	<i>Penaeus japonicus</i>						○	
222					クマエビ	クマエビ属	<i>Penaeus semisulcatus</i>					○		
223					ウシエビ	ウシエビ属	<i>Penaeus monodon</i>						○	
-					クルマエビ科	Penaeidae		○	○	○	○	○	○	○
224					サクラエビ	アキアミ	<i>Acetes japonicus</i>				○	○	○	○
225					オキエビ	カドソコシエビ	<i>Leptochela pugnax</i>							○
226					テッポウエビ	マンガローブテッポウエビ	<i>Alpheus euphrosyne richardsoni</i>			○		○	○	○
227					テッポウエビ	テッポウエビ属	<i>Alpheus brevicristatus</i>					○	○	○
228			イソテッポウエビ	イソテッポウエビ属	<i>Alpheus lobidens</i>					○				
-			テッポウエビ科	Alpheidae		○	○	○	○	○	○	○		
229			センロムラサキエビ	センロムラサキエビ属	<i>Athanas japonicus</i>					○	○	○		
-			ムラサキエビ科	Athanasidae			○			○	○	○		
-			テッポウエビ科	Alpheidae						○		○		
230			ツノメエビ	ツノメエビ	<i>Ogyrides orientalis</i>					○	○	○		
231			モエビ	モエビ科	Hyppolytidae							○		
232			ロウソクエビ	ハヤシロウソクエビ	<i>Processa sulcata</i>					○				
-			ロウソクエビ属	<i>Processa</i> sp.							○	○		
233			テナガエビ	シラタエビ	<i>Exopalaemon orientis</i>		○	○	○	○	○	○		
234				テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>			○	○	○				
235				イソシエビ	<i>Palaemon pacificus</i>			○		○				
236				ユビナカスシエビ	<i>Palaemon paucidens</i>					○		○		
237				スジエビモドキ	<i>Palaemon serrifer</i>			○			○	○		
-				テナガエビ科	Palaemonidae					○				
238			エビジャコ	エビジャコ	<i>Crangon affinis</i>		○	○		○				
239				エビジャコ	<i>Crangon uritai</i>					○	○	○		
-				エビジャコ属	<i>Crangon</i> sp.			○	○	○	○	○		
240			アナエビ	アナエビ科	Axiidae			○						
241	ハサミジャコエビ	ハサミジャコエビ	<i>Laomedea astacina</i>			○		○		○				
242	アナジャコ	アナジャコ	<i>Upogebia major</i>			○								
243		ヨコヤアナジャコ	<i>Upogebia yokoyai</i>		○	○	○	○	○	○				
-		アナジャコ属	<i>Upogebia</i> sp.			○	○	○	○	○				
-		アナジャコ科	Upogebiidae				○							
244	スナモグリ	ニホンスナモグリ	<i>Callianassa japonica</i>			○		○	○	○				
245		スナモグリ	<i>Callianassa petalura</i>					○						
-		スナモグリ属	<i>Callianassa</i> sp.		○	○	○	○	○	○				

注1：同定結果が属や科止まりの種については、過去にその属や科の生物が出現していない場合のみ1種として計数した。

注2：太字は希少種を示す。

表 6-3-3-1(9) 出現種の経年変化 (9/11)

No.	分類群					H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	
	門	綱	目	科	和名	学名	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種	
-	節足動物	甲殻	十脚	スナモグリ	スナモグリ科	Callianassidae			○			
246				コシオリエビ	コシオリエビ科	Galatheididae					○	
247				ヤトカリ	トゲトゲツノヤトカリ	<i>Diogenes spinifrons</i>					○	○
-					ヤトカリ科	Diogenidae					○	
248				ホンヤトカリ	ユヒナガホンヤトカリ	<i>Pagurus minutus</i>	○	○	○	○	○	○
-					ホンヤトカリ属	<i>Pagurus</i> sp.			○			
-					ホンヤトカリ科	Paguridae				○		
249				カニダマシ	フトウデネジレカニダマシ	<i>Pisidia serratifrons</i>						○
250				クダヒゲガニ	クダヒゲガニ	<i>Albunea symnista</i>						○
251				ヘイケガニ	ヘイケガニ	<i>Neodorippe japonica</i>						○
252				ヒシガニ	ヒシガニ科	Parthenopidae						○
253				カラツハ	アミメキンセンガニ	<i>Matuta planipes</i>				○	○	○
254					キンセンガニ	<i>Matuta victor</i>					○	○
255				クモガニ	イッカククモガニ	<i>Pyromaia tuberculata</i>						○
256					ヨツハマガニ	<i>Pugettia quadridens quadridens</i>						○
257				コブシガニ	マメコブシガニ	<i>Philyra pisum</i>	○	○	○	○	○	○
258					ヒラコブシ	<i>Philyra syndactyla</i>						○
-					マメコブシガニ属	<i>Philyra</i> sp.						○
259				イチョウガニ	イホイチョウガニ	<i>Cancer gibbosulus</i>				○		○
260				ワタリガニ	フタホシイシガニ	<i>Charybdis bimaculata</i>				○		○
261					イシガニ	<i>Charybdis japonica</i>				○		○
-					イシガニ属	<i>Charybdis</i> sp.						○
262					ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>				○	○	○
263					タイワンガザミ	<i>Portunus pelagicus</i>					○	○
-					ガザミ属	<i>Portunus</i> sp.						○
264					ノキリガザミ	<i>Scylla serrata</i>						○
-					ノキリガザミ属	<i>Scylla</i> sp.						○
-					ワタリガニ科	Portunidae						○
265				カクレガニ	ヨコナガモトキ	<i>Asthenognathus inaequipes</i>						○
266					ラスハンマカニ	<i>Pinnixa rathbuni</i>	○	○	○			○
-		マカニ属	<i>Pinnixa</i> sp.					○				
267		フタヒシノ	<i>Pinnotheres bidentatus</i>	○	○	○			○			
268		カキツメピンノ	<i>Pinnotheres pholadis</i>				○		○			
269		オオシロピンノ	<i>Pinnotheres sinensis</i>						○			
270		ウモレマカニ	<i>Pseudopinnixa carinata</i>				○	○	○			
271		オヨギヒシノ	<i>Tritodynamia horvathi</i>						○			
-		カクレガニ科	Pinnotheridae						○			
272	スナガニ	ムツハリアケガニ	<i>Camptandrium sexdentatum</i>	○	○	○	○	○	○			
273		チコガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>	○	○	○	○	○	○			
274		オサガニ	<i>Macrophthalmus abbreviatus</i>	○	○	○	○	○	○			

注1：同定結果が属や科止まりの種については、過去にその属や科の生物が出現していない場合のみ1種として計数した。

注2：太字は希少種を示す。また、指標種は水色で示した。



表 6-3-3-1(10) 出現種の経年変化 (10/11)

No.	分類群					H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度			
	門	綱	目	科	和名	学名	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種			
275	節足動物	甲殻	十脚	スナガニ	ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	○	○	○	○	○			
-					オサガニ属	<i>Macrophthalmus</i> sp.			○	○	○	○		
276					スナガニ	<i>Ocyropa stimpsoni</i>		○	○	○	○	○		
277					アリアケモドキ	<i>Paracleistostoma cristatum</i>		○	○	○	○	○		
278					コムツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>		○	○	○	○	○		
279					シオマネキ	<i>Uca arcuata</i>		○	○	○	○	○		
280					ハクセンシオマネキ	<i>Uca lactea</i>		○	○	○	○	○		
-					スナガニ科	Ocyropodidae				○				
281					イワガニ	トリウミアカイソトモドキ	<i>Acmaeopleura toriumii</i>		○	○		○	○	○
-						ヒメアカイソガニ属	<i>Acmaeopleura</i> sp.				○			
282				ハマガニ		<i>Chasmagnathus convexus</i>			○	○	○			
283				モクスガニ		<i>Eriocheir japonicus</i>			○	○	○	○		
284				ヒライソガニ		<i>Gaetice depressus</i>							○	
285				ヒメアシハラガニ		<i>Helice japonica</i>			○	○	○	○	○	
286				アシハラガニ		<i>Helice tridens</i>		○	○	○	○	○	○	
-				アシハラガニ属		<i>Helice</i> sp.			○	○	○	○	○	
287				ケフサイソガニ		<i>Hemigrapsus penicillatus</i>		○	○	○	○	○	○	
288				ヒメケフサイソガニ		<i>Hemigrapsus sinensis</i>					○	○		
289				タノケフサイソガニ		<i>Hemigrapsus takanoi</i>				○	○	○	○	
-				イソガニ属		<i>Hemigrapsus</i> sp.				○	○	○	○	
290				クロベンケイガニ		<i>Chiromantes dehaani</i>				○				
291				アカテガニ		<i>Chiromantes haematocheir</i>		○	○		○	○	○	
292				ウモレベンケイガニ		<i>Clistocoeloma sinense</i>				○		○	○	
293				ユビアカベンケイガニ		<i>Parasesarma acis</i>		○	○	○	○	○	○	
294				カクベンケイガニ		<i>Parasesarma pictum</i>				○	○	○	○	
295				クシテガニ		<i>Parasesarma plicatum</i>		○	○	○	○	○	○	
296				フタバカクガニ		<i>Perisesarma bidens</i>				○	○	○	○	
297				ベンケイガニ		<i>Sesarmops intermedius</i>					○			
-				イワガニ科	Grapsidae		○		○			○		
-				短尾下目(メガロパ期幼生)	Brachyura (megalopa)		○		○		○	○		
298	唇脚	ジムカテ目	—	ジムカテ目	Geophilomorpha		○							
299	昆虫	双翅	ガガンボ	ガガンボ科(幼生)	Tipulidae (larva)	○								
300			アシナガハエ	アシナガハエ科	Dolichopodidae	○	○		○					
-			—	双翅目(幼虫)	Diptera (larva)			○						
-			—	双翅目(蛹)	Diptera (pupa)			○						
301	棘皮動物	蛇尾	閉蛇尾	チビクモトテ	—	<i>Ophiactis</i> sp.				○				
302				スナクモトテ	カキクモトテ	<i>Amphioplus japonicus</i>					○			
-				—	スナクモトテ科	Amphiuridae			○					
303				クシノハクモトテ	クシノハクモトテ	<i>Ophiura kinbergi</i>					○			
304	海星	顕帯	モミジガイ	モミジガイ属	<i>Astropecten</i> sp.					○				

注1：同定結果が属や科止まりの種については、過去にその属や科の生物が出現していない場合のみ1種として計数した。

注2：太字は希少種を示す。また、指標種は水色で示した。

表 6-3-3-1(11) 出現種の経年変化 (11/11)

No.	分類群					学名	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	
	門	綱	目	科	和名		確認種	確認種	確認種	確認種	確認種	確認種	
305	棘皮動物	海星	キヒトテ	キヒトテ	キヒトテ	<i>Asterias amurensis</i>					○	○	
306			ホンウニ	サンショウウニ	サンショウウニ	<i>Temnopleurus toreumaticus</i>						○	
307			海鼠	無足	イカリナマコ	ウチワイカリナマコ	<i>Labidoplax dubia</i>					○	○
308						トゲイカリナマコ	<i>Protankyra bidentata</i>					○	○
-						イカリナマコ科	Synaptidae				○		
309	半索動物	キホシムシ	腸鰓	キホシムシ	オオキホシムシ属	<i>Balanoglossus</i> sp.					○		
種類数合計							67	97	105	156	205	201	

注1：同定結果が属や科止まりの種については、過去にその属や科の生物が出現していない場合のみ1種として計数した。

注2：太字は希少種を示す。

## 6-4 底生生物調査のまとめ

### (1) 平成 20 年度調査結果

- 平成 20 年度に確認された底生生物は 9 門 210 種であり、うち、干潟上でのみ確認された生物は 73 種、干潟周辺河床域でのみ確認された生物は 96 種であり、41 種が干潟上、周辺河床の両方で確認された。また、平成 20 年度新規に確認された種は 40 種であった。
- 指標種調査で確認された表在性の底生生物は、砂分主体である河口干潟では、コメツキガニが最も多く確認された。その他の出現種としては砂泥域でフトヘナタリガイが、滞筋周辺のやや泥分が高い地域ではチゴガニが多かった。また、河口干潟のヨシ原では、シオマネキ、ヘナタリガイ、ヒロクチカノコガイが確認され、ハクセンシオマネキがヨシ原縁部で局所的に確認された。
- 指標種調査で確認された表在性の底生生物は、砂泥分が主体の住吉干潟では、ヨシ原縁部の砂泥域に生息するチゴガニが最も多く確認された。その他の出現種としては、潮間帯の砂泥域でヤマトオサガニが、潮間帯の砂質域ではコメツキガニが多数確認された。ヨシ原内ではシオマネキ、ヒロクチカノコガイ、クシテガニがヨシ原内の広範囲で確認され、ハクセンシオマネキもヨシ原内およびヨシ原縁部で多数確認された。
- ヨシ原調査で確認されたカワザンショウは 4 種であり、カワザンショウ、ヒラドカワザンショウが多数確認された。なお、平成 19 年度と比べて確認個体数は少なかった。
- カニ籠によるガザミ類採取では、イシガニ、ガザミ、イシガニ属が確認された。また、ガザミ、イシガニ類は魚類調査において、河口干潟と住吉干潟グランド横の干潮位付近の各所で確認された。
- 定量調査で確認された底生生物は、河口干潟では 58 種が確認され、マルソコエビ属、トリウミアカイソモドキ、スナモグリ属等の個体数が多かった。
- 定量調査で確認された底生生物は、住吉干潟では 45 種が確認され、エドガワミズゴマツボ、スナモグリ属等の個体数が多かった。
- 干潟周辺河口域の浅海域河床底質調査点では 51 種、ウモレマメガニ分布調査ではウモレマメガニを含む 142 種の底生生物が確認され、アシナガギボシイソメ、ホトトギスガイ、ケンサキスピオ等の個体数が多かった。
- ウモレマメガニは、河床域の 2 地点で全 4 個体が確認された。なお、過去の調査結果および周辺地域の調査結果から、ウモレマメガニは干潮位から DL-1m の範囲の砂質の場所を好む傾向があると推定される。
- 表在性の指標種のうち、シオマネキ、ヤマトオサガニ等は干潟上での分布が確認され、顕著な分布範囲の減少、分布位置の変化は認められない。
- 河口干潟に分布するフトヘナタリガイ、ヘナタリガイ、ヒロクチカノコガイの分布範囲は、平成 20 年度はやや小さかった。
- 希少種は、毎年 20~40 種類程度が記録されたが、平成 20 年度は 38 種類が確認された。

### (2) 平成 21 年度調査時の留意点

平成 20 年度の調査結果では、指標種のうち表在性のホソウミニナ、埋在性のイトメが確認されず、ソトオリガイも干潟上では確認されなかった。また、河口干潟において、ヘナタリガイ、フトヘナタリガイ、ヒロクチカノコガイの分布範囲が、過去の調査に比べてやや減少する傾向がみられた。今後の調査ではこれらの生物の出現状況に注意を払う必要がある。また、今回個体数が少なかったヨシ原内のカワザンショウ類についても併せて生息状況に留意する必要があると考える。